別添資料１

国立科学博物館の施設管理・運営業務

仕様書

平成 21 年 11月

独立行政法人国立科学博物館

目　　次

１　総則

（１）本書の位置付け

本仕様書（以下「本書」という。）は、独立行政法人国立科学博物館（以下「科学博物館」という。）が「国立科学博物館の施設管理・運営業務」（以下「本件業務」という。）を実施する民間事業者を募集及び選定するに当たって、本件業務の実施について、科学博物館が民間事業者に求める業務の要求水準を示したものであり、入札に参加しようとする者に交付する実施要項と一体のものである。

なお、本書に示す要求水準は科学博物館が求める最低限の要求水準であり、当該仕様を上回る水準が確保できる場合には、そのような提案を制限するものではない。また、本書に示す要求水準と同程度の水準を確保できる場合には、コストの削減等効率的な業務実施のために、当該方法と異なる方法を採用することも可能とする。

（２）民間事業者の業務範囲

民間事業者の業務範囲は、以下のとおりである。

業務分類	業務内容
①関係業務統括業務	ア　施設管理・運営支援業務の統括管理業務
②防災設備等保守管理業務	ア　防災設備点検保守
	イ　昇降機設備点検保守
	ウ　ボイラー設備点検保守
	エ　冷凍機等整備点検保守
	オ　給排水衛生機器整備点検保守
	カ　空気環境測定
	キ　高圧受変電設備点検保守
	ク　直流電源設備点検保守
	ケ　構内電話交換機設備点検保守
	コ　電話交換業務
	サ　自動ドア点検保守
	シ　監視制御設備点検保守
	ス　建物設備運転・監視等業務
③清掃業務	ア　館内及び外構清掃
④警備業務	ア　警備業務
⑤総合案内・展示施設案内等業務	ア　総合案内・展示施設案内等業務

２ 業務仕様

（１）総則

本書１（２）に示した業務を遂行するに当たり、民間事業者は、科学博物館の特殊性を十分に理解し、その円滑な運営に支障をもたらすことのないよう留意すること。また、科学博物館への来館者に対しても遺漏のないよう万全を期し、誠実に対応すること。

建物・設備等について故障、不具合等が発生した場合には、民間事業者は、科学博物館と連携し、速やかに技術者を派遣し対応すること。

防災設備等保守管理業務においては、以下２（２）②の業務内容に基づくとともに、「平成２０年版保全業務標準仕様書」（文部科学省大臣官房文教施設部）（以下「標準仕様書」という。）に該当する業務は、標準仕様書に基づき保守点検を行うこと。保守点検作業の結果、機器又は部品の交換の必要が生じた場合には、科学博物館の指示により行うこと。機器又は部品の交換を行った場合、交換作業費以外の代金は、原則として別途科学博物館に請求できるものとする。

なお、防災設備等保守管理業務に使用する工具及び試験器具等は、原則としてすべて民間事業者が持参すること。

「平成２０年版保全業務標準仕様書」（文部科学省大臣官房文教施設部）
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/eizen/04032202/001.pdf

（２）個別業務仕様

①関係業務統括業務

ア　施設管理・運営支援業務の統括管理業務

（ア）業務内容

A　防災設備等保守管理業務、清掃業務、警備業務、総合案内・展示施設案内等業務（以下、「施設管理・運営支援業務」という。）を円滑に遂行するために、統括責任者を１名置き、科学博物館職員との連絡調整を密に行うこと。

B　また、防災設備等保守管理業務、清掃業務、警備業務、総合案内・展示施設案内等業務に、それぞれ業務責任者を１名置き、統括責任者と連絡調整を密に行うこと。

C　統括責任者は、施設管理・運営支援業務を行う各担当者と連絡調整を行うこと。

D　関連する作業の工程及び日程は、原則として、統括責任者が科学博物館と相談、協議の上、実施すること。

E　科学博物館の指示に従い、必要に応じて年間及び月間作業計画を作成の上、統括責任者は科学博物館担当者に事前に提出し、周知を図ること。

F　民間事業者は、作業の遂行に当たっては、科学博物館の担当者と密接な連絡のもとに作業を実施し、作業完了後はその内容を記載した報告書を作成し、業務報告書として、科学博物館に提出すること。

G　施設管理・運営支援業務に付随する、法律及び条例等に定められた報告書または資料等の作成についても必要に応じて行うこと。

H　民間事業者は、施設の維持管理に係る資料、図面の保管・管理を行うこと。

I　民間事業者は、各業務について、業務の手順や具体的な作業の方法などを定めた管理マニュアル等の立案と更新を行うこと。なお、既存のマニュアルが存在する業務については、民間事業者に提供するので、必要に応じ改訂を行うこと。

J　統括責任者は、原則として科学博物館において統括業務に当たることとし、不在の場合には統括責任者に代わって現場で連絡調整を行う現場統括者 1 名以上を配置すること。

K　以下、仕様書中において、科学博物館への報告や科学博物館からの指示を受ける等の記載がある場合は、当該統括責任者を経て行うこと。

②防災設備等保守管理業務

ア　防災設備点検保守

（ア）業務内容

消防法施行規則第３１条の６の規定に基づき点検整備を行う。

点検は、「消防用設備等の点検に係る運用について（平成１４年６月１１日消防予第１７３号)」に定めるところにより適正に行い、必要に応じ、保守、その他の措置を講じるものとする。

点検回数は、機器点検が２回／年、総合点検が１回／年とする。ただし、機器点検の１回は総合点検に含めてもよい。

点検報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出し、書式は消防法令で定められたものとする。

（イ）実施対象物

建物名称	点検名称等	数量等
日本館	消火器具	別紙１のとおり
	屋内消火栓設備	
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備	
	自動火災報知設備	
	非常警報設備	
	誘導灯設備	
	防火排煙設備	
	操作盤	
地球館	消火器具	
	屋内消火栓設備	
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備	
	不活性ガス消火設備	
	自動火災報知設備	
	ｶﾞｽ漏れ火災警報設備	
	非常警報設備	
	誘導灯設備	
	防火排煙設備	
	連結送水管設備	
	非常ｺﾝｾﾝﾄ設備	
	無線通信補助設備	
	自家発電設備	
みどり館	消火器具	
	屋内消火栓設備	
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備	
	自動火災報知設備	
	非常警報設備	
	誘導灯設備	
	防火排煙設備	
	無線通信補助設備	

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。
消防設備点検資格者(第１・２種)又は消防設備士

（エ）使用材料等

以下に掲げる以外の費用(消耗品等)はすべて民間事業者の負担とする。

A　発注者の都合により行う工事または、設備の移動あるいは改修を必要とする場合
B　設備の破損もしくは老朽化による機器への交換の必要が生じたときに発注者が認めた場合

イ　昇降機設備点検保守

（ア）業務内容

「建築基準法」及びにこれに基づく条例並びに「昇降機の維持及び運行の管理に関する指針（平成５年６月３０日住防発第１７号)」に定めるところにより、点検整備を行う。
業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙２のとおり。

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。
１級建築士若しくは２級建築士又は国土交通大臣が定める資格を有する者

（エ）使用材料等

前記の修理に要する部品を除く消耗品は、民間事業者の負担とする。点検により不良部品等を交換する際は、その都度科学博物館の職員に報告し修理を行い、交換部品については純正部品にて別途とする(軽微なものは民間事業者の負担とする)。交換純正部品については早急に入手できること。
マイコン制御方式で遠隔監視するにあたり、電話回線に関する費用は民間事業者の負担とする。

ウ　ボイラー設備点検保守

（ア）業務内容

「労働安全衛生法」及び「同法第４５条第３項に基づき労働厚生大臣が公表する技術上の指針」、「ボイラー及び圧力容器安全規則」、「消防法」及び同法に基づく条例、「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」、「ガス事業法」等の関係法令等に定めるところにより、点検整備を行う。

大気汚染防止法に基づき、２回／年、ばい煙測定を行う。

「消防法」、「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」、条例に定めるところにより、地下タンクの点検整備を行う。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙３のとおり。

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。

ボイラー整備士

エ　冷凍機等整備点検保守

（ア）業務内容

「消防法」及び同法に基づく条例、「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」、「ガス事業法」等の関係法令等に定めるところにより、吸収式冷温水機の点検整備をする。

試運転調整は５月３１日までに行うこと。なお、冷凍機等運転中に故障発生の連絡の際は直ちに技術員を派遣し、処置をするものとする。部品交換の必要が生じた場合は、別途協議の上施工するものとする。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙４のとおり。

オ　給排水衛生機器整備点検保守

（ア）業務内容

Ａ　給水槽清掃・点検

「水道法」及び「同法施行規則」、「水質基準に関する省令」、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、「同法施行規則」及び同法に基づく厚生労働省告示並びに条例に定めるところによる。

清掃・点検回数は次のとおりとする。

1)　受水槽、高置水槽の清掃・点検・・・１回／年

2)　揚水ポンプの点検・・・１回／年

3)　水道水の水質検査

２６項目：１検体(高置水槽毎に上半期に実施)

26 項目内訳　省略不可項目(10 項目)、重金属(４項目)

蒸発残留物(１項目)、消毒副生成物(11 項目)

１０項目：１検体(高置水槽毎に下半期に実施)

10 項目内訳　省略不可項目(10 項目)、

※簡易専用水道管理検査の受検は本業務に含まれる。

4)　業務従事者は、水道法施行規則第 16 条に規定する、作業に関わる者の健康診断書を必ず提出すること。

5)　雨水処理装置点検・・・１回／年

目視点検の他、次による。

ｱ)全自動逆洗式砂ろ過装置

・ろ過ポンプ点検

・ろ材の部分交換補充

ｵｶﾗｲﾄ(0.6mm)　20L/30kg×3 袋=60L(全容量 220L)

・ストレーナー清掃等

ｲ)薬液注入装置

・ポンプ接液部消耗品交換

弁座部ｾｯﾄ(4 組) 保護ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ Ｏーﾘﾝｸﾞ等

・吐出量の調整

ｳ)動力制御盤

・スイッチ・タイマー等の動作チェック

・各表示灯の点灯確認等

ｴ)水質分析(ろ過前後の計２検体)

・分析項目(５項目)

清掃等によって、生じた汚泥等の廃棄物は、関連法令の規定に基づき、適切

に構外搬出処分とする。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで 1 部提出する。なお、点検整備作業中の写真を添付すること。

Ｂ　排水槽清掃・点検

「下水道法」「同法施行令」及び「同法施行規則」、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、「同法施行規則」及び「同法に基づく厚生労働省告示」に定めところによる。

清掃・点検回数はつぎのとおりとする。

1)　汚水槽及び雑排水槽の清掃・点検・・・３回／年

2)　雨水槽及び湧水槽の清掃・点検・・・１回／年

3)　汚水・排水・雨水・湧水ポンプの点検・・・３回／年

また、厨房排水除害設備の清掃・点検はつぎによる。

設備確認(日常点検、水質分析の結果及び運転調整方法の検討)・調整補助及び作業指示・・・２回／月

ただし、下記の業務は、範囲外とする。

・巡回(２回／月)外の臨時対応費用

・各機器、電気、その他の設備のｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ等の修理・修繕費用

・薬品(バイオ生剤)は、科学博物館から支給する。

a 範囲は、厨房排水除害設備の流入口、接触調整槽から放流ポンプ出口配管流量計までとする。

b 厨房排水処理機器は、下記の範囲とする。

･機械本体とその付属品の運転管理と保守点検、各機器の圧力、水量の確認、調整補助。

･オイル、グリスの補充、交換の指示。

･騒音、振動の有無の確認及びベルトの調整と交換の指示。

･各配管とその付属品及びポンプの詰まり確認及び対応補助。

･各機器オーバーホール及び消耗機材補充、交換時期の立案。(実施費用別途)

･塗装状況の点検。

c オゾン脱臭装置関係は、下記の範囲とする。

･ 機械本体とその付属品の運転管理と保守点検、各機器の圧力、水量の確認、電流値、オゾン発生量の確認。

･ 騒音、振動の有無の確認及びベルトの調整と交換の指示。

･ 各配管とその付属品及びポンプの詰まり確認及び対応補助。

･ 各機器オーバーホール及び消耗機材補充、交換時期の立案。(実施費用別途)

・ 塗装状況の点検。

d 電気関係は下記の範囲とする。

・ 厨房除害設備、制御盤内(１次側は別途)から放流水槽までの各電気とする。

・ ２次側以降、電気全般とその付属品の運転管理と保守点検補助。

・ 各電気機器の調整補助。

・ 各機器オーバーホール及び消耗機材補充、交換時期の立案。(実施費用別途)

・ 絶縁抵抗値測定及び電流値測定等。

e 水槽関係は下記の状況確認の補助とする。

・ 各水槽の水位・貯留水の状況・ばっ気撹拌状況・外観、臭気。

・ 各水槽の発砲の状況・浮遊物の状況。(必要に応じて除去)

・ 放流水槽・循環水槽の簡易清掃。

・ 水槽から水槽への移流の状況

・ 塗装及びライニング状況の点検

f 薬品(バイオ生剤)関係は下記の状況確認の補助とする。

・ バイオ充填ユニットの調整及び補充。

・ 添加量の調整・確認。

・ 在庫の確保・搬入。

g 水質関係は、下記の範囲とする。

・ 水質安定化の調整。

・ 水質分析(１回／月)・・下水道法及び水質汚濁防止法による。

接触調整槽(原水)・放流水槽(処理水)

分析項目：pH、BOD、n-Hex、SS、T-N、T-P

・ 現場測定できる簡易水質分析補助。

接触調整槽・BC 槽・循環ポンプ槽・放流槽

分析項目：水温、pH、色調、透視度等

h 清掃関係は下記の範囲とする。

・ 床等の簡易清掃補助・各機器の清掃補助。

・ 水槽内オイルボール等の日常の処分は別途。清掃時(接触調整槽(2 槽)及び放流槽(1 槽)の処分は本業務)

・ スクリーンしさ夾雑物(野菜・米等)の日常の除去処分は別途。清掃時(接触調整槽(2 槽)及び放流槽(1 槽)の処分は本業務)

雑用水(雨水再利用水)の水質検査を下記により行う。

検査項目：大腸菌群数

採水場所：地球館Ⅱ期ポンプ室の雑排水槽冷却用雑用水コック

回　　数：２ヶ月以内毎に１回の期間で６回)

排水槽清掃等によって、生じた汚泥等の廃棄物は、関連法令の規定に基づき、適切に構外搬出処分とする。

排水施設及び厨房排水除外設備に係る業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで１部提出する。なお、点検整備作業中の写真を添付すること。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙５のとおり。

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。

Ａ　建築物環境衛生管理技術者

Ｂ　東京都下水道条例施行規程別表の一の事業場に応じた水質管理責任者の資格を有する者

カ　空気環境測定

（ア）業務内容

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」及び「空気調和設備等の維持管理及び清掃等に係る技術上の基準（平成１５年３月２５日厚生労働省告示第１１９号)」に基づき空気環境測定を行う。

測定内容等はつぎのとおりとする。

1)　測定箇所は、５０ポイント（日本館１６ポイント・地球館３４ポイント）とする。

2)　点検は、法令等に定めた有資格者が２か月に１回、年６回の測定を行う。

3)　測定場所は協議による。

4)　測定項目は、法令等に定められている項目とする。

測定報告書は、２部提出し、都衛生局・保健所に提出できる書式とする。

（イ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。

建築物環境衛生管理技術者

キ　高圧受変電設備点検保守

（ア）業務内容

「電気事業法」による自家用電気工作物の維持及び運用についての保安規程等を遵守して、適正にその点検及び保守を行うものとする。

点検回数は１回／年とする。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙６のとおり。

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。

第３種電気主任技術者

ク　直流電源設備点検保守

（ア）業務内容

直流電源設備の点検整備等はつぎのとおりとする。

点検回数は１回／年とする。

標準仕様書により、点検整備を行う。ただし、総合試験（容量の測定）は行わないこととする。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙７のとおり。

ケ　構内電話交換機設備整備業務

（ア）業務内容

構内電話交換機設備を一定の機能水準維持のため、標準仕様書により点検整備を行う。

業務期間内において、障害を発見した時、電話機等の使用者から障害の申告があった時及び突発的障害が発生したときは、直ちに障害の対応をとること。このときの障害時対応費は民間事業者の負担とし、修理等に要する費用は発注者の負担とする。

トラフィックを年１回以上測定し、その結果を報告すること。

点検回数は２回／年とする。

業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙８のとおり。

（ウ）実施体制

民間事業者は、関係法令等に従い、下記資格者を配置すること。

当該保守に必要な工事担任者資格を有する者

コ　電話交換業務

（ア）業務内容

地球館地下１階の電子デジタル交換機の無紐式中継台据置形２座席の電話交換業務を行う。

交換取扱い業務は次の 1)～6)とする。

1) 着信通話の応答・内線への接続
2) 内線呼び返しへの応答及び接続替え
3) 内線からの市外通話・国際通話の申込み受付
4) 電話番号・料金等の問い合わせに対する案内
5) 国際通話料金等は定められた書類等に記載し毎月末に当館担当者へ報告する。
6) その他交換業務に関する事項で不明な点は、当館担当者に問い合わせのうえ行う。

交換取扱時間等は８：３０～１７：３０までとする。ただし、土・日曜・祝日及び１２月２９日より１月１日までは除く。業務予定日数については別紙２０を参照。

民間事業者は交換取扱者に親切明朗適切な交換業務を行うよう指導すること。

電話交換業務に必要な什器及び事務用品等は当館において用意する。交換取扱者の生活用品等は民間事業者の負担とする。

サ　自動ドア点検保守

（ア）業務内容

自動ドア１９面を標準仕様書に基づき、点検整備をする。
点検回数は４回／年とする。
業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙９のとおり。

シ　監視制御設備点検保守

（ア）業務内容

中央監視制御・自動制御設備を標準仕様書に基づき、点検整備する。
点検回数は１回／年とする。
業務報告書は、Ａ４判ファイルに綴じ込んで２部提出する。

（イ）実施対象物

実施対象の設備の概要は別紙１０のとおり。

ス　建物設備運転・監視等業務

（ア）業務内容

独立行政法人国立科学博物館における施設・設備の運転･監視等を標準仕様書及び関連法規の定めるところにより行う。

1)施設・設備運転・監視

①　施設・設備等の運転期日、時間、運転系統等については、発注者の指示に従って経済的・効率的に運転をすること。

②　民間事業者は下記の設備機器の運転管理記録を毎日作成し、発注者に提出すること。
　　受変電設備、冷暖房機器記録、光熱水量、温湿度記録、
　　電気・機械設備の運転記録、その他の記録

③　運転中に異常が発生した場合は、直ちに発注者に連絡し、その指示を受けると共に原因を究明し適切な処置をとること。

2)施設・設備の保守点検

①　施設･設備の保守点検の方法、点検箇所、点検周期等については、標準仕様書及び関連法規に従って点検表を作成し、これによって実施すること。

② 民間事業者は、年次及び月間作業・点検計画を作成し、発注者の承諾を受けて実施し、作業結果を発注者に提出すること。

3)修理

① 運転監視及び点検中に発見した故障又は他の者からの故障等の連絡があった場合は、直ちにその故障の原因を究明し、技術的な判断により修復につとめると共に高度な技術を要する修理又は専門業者により修理を要するもの以外は、民間事業者が修理を行う。

② 民間事業者が行う修理のための主要な部品等は、発注者が支給する。

4)その他

① 運転監視等にあたり、必要な図面、取扱説明書、鍵等は発注者が必要と認めるものに限って貸与する。

② 業務従事者の常駐場所は、地球館地下１階中央監視室とする。

③ 建物設備の設置場所、作業場所は常に整理整頓に努め作業の安全を確保すると共に定期的に清掃を行うこと。

（イ）実施対象

運転・監視等の対象設備は別紙１１のとおり。

（ウ）実施体制

当該業務に従事する人員・運転監視時間及び従事する者の各種資格は次のとおりとする。

運転監視時間及び人員	人員内訳	資格
８：３０～１７：１５ 5 人以上常駐とする。	2 級ボイラー技士 2 名、第 3 種電気主任技術者 1 名、技術補佐員 2 名(電気通信関係 1 名、機械関係 1 名)は常駐とする。	配置する従事者に第 3 種冷凍機械作業主任者、危険物取扱者乙種第四類、エネルギー管理士、第 2 種電気工事士の有資格者を含むこと。
※夜間開館を行う日は次の時間を追加する。 １７：１５～２０：１５ 3 人以上常駐	2 級ボイラー技士 1 名、技術補佐員 2 名(電気通信関係 1 名、機械関係 1 名)は常駐とする。	

１２月２９日から１月１日までと、科学博物館の指定する日時は運転監視等は要しない。また、夜間開館とは、毎週金曜日に閉館時間を２０時とするも

のである(通常は１７時)。なお、業務予定日数については別紙２０を参照。

③清掃業務

ア　館内及び外構清掃業務

（ア）業務内容

科学博物館内の床、屋外通路、通用口、エントランス、施設周囲外構等を清掃し、常に清潔かつ衛生的な状態を保つとともに、鑑賞の環境の場にふさわしい環境を保持することを目的とし、本仕様書の定めに従い、清掃作業を行うものである。

「別紙１２清掃内容一覧表」に基づき実施すること。

清掃作業にあたっては、椅子等移動可能なものは丁寧に取りかたづけてから作業を行い、作業終了後は元に戻しておくこと。

建物・備品等を破損した場合は、直ちに科学博物館職員に報告し、その指示に従うこと。

清掃器具及び使用材料は、作業内容並びに建築材料に適したものを使用すること。

清掃作業は仕様書に記載のない事項であっても、美観上、衛生上、又は建物の管理上必要と認めた箇所、その他軽微なものについても実施すること。

通常の清掃作業終了後は、定期的に清掃対象箇所を巡回し、汚れがあった場合は直ちに対応すること。また、科学博物館から指示があった場合についても同様とする。

また、清掃業務作業者は、品位を保ち、来館者に対して明朗に接すること。

Ａ　日常清掃

(A) 正面入口付近(サンクンガーデン含む)

a 開館前までに床面の清掃及び扉、ガラス等の拭き掃除を行うこと。

(B) 地下ラウンジ

a 開館前までに床面の清掃及び扉、ガラス等の拭き掃除及びテーブル、椅子の拭き掃除を行うこと。

b 開館中においては、随時汚れ部分の清掃を行い清潔な状態にしておくこと。

(C) トイレ

a 床面はモップによる水拭きを実施すること。汚れに応じてポリッシャーによる洗浄を行うこと。

b 便器及び洗面台等の衛生器具は洗剤等による清掃を行い、常に清潔な状態にしておくこと。

c トイレットペーパー、水石けんの補給を随時行うこと。

d 幼児用台座カバーについては洗剤等による拭き掃除を行うこと。

e 利用頻度の多い日本館地下 1 階、地球館 1 階等のトイレについては開館前に清掃を行うこと。

f ゴミ箱、汚物入れ等のゴミを回収すること。

g 開館中、定期的に巡回し、清潔な状態を保つよう努めること。

h その他衛生管理上、必要とされる清掃及び関連作業を実施する。

(D) 展示フロア・階段・通路・エレベータ等

a 自在箒により清掃し、必要に応じて電気掃除機による清掃、モップによる水拭きを行うこと。

b 昼間に利用頻度の多い地球館 1 階出入口とレストラン周辺は午前中より清掃を行うこと。

c レストラン周辺の床面は、油汚れが残らないよう洗剤等による拭き掃除を行うこと。

d 展示室、通路、エレベータ等の扉、エスカレータロビーのカラス面の拭き掃除を随時行うこと。

e 屋外の案内表示等の拭き掃除を行うこと。

f 階段の手すりは雑巾掛けをし、汚れに応じて洗剤で拭き取ること。日本館の手すり等の彫刻部分の拭き掃除においては傷をつけないよう注意すること。

g ゴミ箱のゴミを回収すること。

h 開館中、定期的に巡回し、軽微な清掃を行うこと。

i 清掃にあたっては、観覧者の妨げにならないよう注意すること。

(E) 事務フロア

a 自在箒により清掃し、必要に応じて電気掃除機による清掃、モップによる水拭きを行うこと。

b 階段の手すりは雑巾掛けをすること。

c リサイクルボックス(事務フロア 1 階、2 階、3 階コピー室)の古紙回収を行い、古紙保管物置に集積すること。

(F) 屋外清掃

a 箒履きを行うこと。

b 植え込みの除草掃除を行うこと。

c 喫煙所の吸い殻の収集、灰皿の清掃を行うこと。

(G) 廃棄物回収整理

a 各所から集めたゴミは、可燃、不燃に分別し、廃棄物保管物置に指定ゴミ袋を用いて集積すること。

B　定期清掃

(A) 床

a Ｐタイル及びビニール床シート部分は、剥離洗浄を行った後、樹脂ワックス仕上げを行うこと。

b カーペット部分は、掃除機による吸塵後、洗剤を用いて洗浄すること。

c 石、タイル、レンガ及びフローリング部分は、表面洗浄仕上げを行うこと。

d 大理石部分は、中性洗剤で洗浄した後、ポリッシャーによるバフがけを行うこと。

e 作業中に水分等が撥ねた展示ケース、周辺のガラス及び壁等の拭き掃除を行うこと。

f 清掃終了後、テーブル、椅子等を現状復帰すること。

（イ）実施対象物

別紙１２による。

（ウ）業務の実施時期・時間

A　日常清掃

以下に掲げる休館日及び年末年始を除く毎日実施することとし、時間は午前8時30分から17時(夜間開館日は20時)までとする。業務予定日数は別紙２０を参照。

休館日：毎週月曜日(祝日法に定める休日にあたる場合は開館し、翌日が休館日となる)。ただし、学校の冬期休業期間(12月25日～27日及び1月2日～7日)、春期休業期間(3月24日～4月6日)、夏期休業期間(7月21日～8月31日)、ゴールデンウィーク(4月29日～5月5日)の期間は原則として毎日開館する。

年末年始：12月28日～1月1日

夜間開館：毎週金曜日に閉館時間を２０時とするものである(通常は１７時)。

B　定期清掃

年2回

④警備業務

ア　警備業務

（ア）業務内容

業務の遂行に際しては、細心の注意を持って館内の安全・秩序の維持、入館者へのサービスの維持向上、展示品や施設への不法行為の防止を図り、盗難及び火災やその他の事故の防止に努め、科学博物館が定める規則を遵守し、健全な管理運営に寄与するよう努めること。

現場責任者を１名常駐させ、各業務の従事者に教育、指導を行うとともに、より効率的な管理体制のもとで責任を負うこと。

入館者からの質問等には真摯に対応するなど、入館者に適切に応対を行うとともに、出札業務においては、英語による簡単な応対を含むものとする。また、その他関係規則に基づく対応を行うこと。

警備員の着用する制服等については、民間事業者において調達するものとし、デザイン等については事前に発注者の承認を得ること。

A　出札業務

a 入館券の確認、無料入館者、団体入館者等の対応と人数の記録
b 入退館者(日本館玄関前)の整理誘導
c 入館不適者の排除
d 不審者・不審物の発見と対応
e 館内諸施設の案内
f 来客者(見学入館者以外)の対応
g 傷病者への対応
h 雨などに伴い必要となった玄関前雨水の排水、滑り止めマットの設置等による危険予防措置
i 雨などに伴い必要となった傘袋スタンド及び回収箱の設置
j 音声ガイド、IC カードの返却忘れ等の回収
k その他、入館者の質問等への対応

B　展示場警備業務(屋上・中庭等屋外展示含む)

a 機械警備機器の解除
b 展示室等の解錠及び照明の点灯(8 時 30 分まで)
c 閉館後の照明の消灯
d エスカレーターの運転、停止
e 国旗の掲揚と降納

f 不審者、不審物の発見と対応
g 館内諸施設の案内
h 館内のチリ等についての連絡(簡便なものは収拾)
i 建物の破損、設備の故障についての連絡
j 傷病者への対応
k 火災等非常事態への対応
l 雨等により生じた雨水の排水、滑り止めの設置等の危険予防措置
m 入館不適者の排除
n 閉館時の入館者の出口への誘導
o その他、入館者の質問等への対応

C　展示場最終巡回業務

a 不審者、不審物の発見と対応
b 展示室等の施錠
c 機械警備機器のセット

D　通用口警備業務

a 鍵の接受と管理
b 来客者、宅配業者その他の業者等への対応と案内
c 防災設備等の発報への対応
d 電話交換業務未実施時(土・日・祝日)の外線電話対応
e 火災等非常事態への対応
f 傷病者等への対応
g 郵便物、宅配物等の預かり及び仕分け
h 駐車場の管理
i 身障者駐車場の管理(予約・案内を含む)
j 入館不適者の排除

E　その他

a 上記以外の項目については、科学博物館等の指示により随時それに従う。

F　業務報告

a 入館者数について科学博物館担当者に報告の上確認を受けること。
b 業務終了後、警備日誌に必要な事項を記入し、科学博物館担当者に報告の上確認を受けること。

（イ）業務の実施時期・時間

業務種別		実施時間
出札業務	夜間開館日以外の開館日	8:00～17:30
	夜間開館日	8:00～20:30
展示場警備業務	夜間開館日以外の開館日	8:00～17:30
	夜間開館日	8:00～20:30
展示場最終巡回業務	夜間開館日以外の開館日	17:30～19:00
	夜間開館日	20:30～22:00
	休館日(12 月 29 日～1 月 1 日を除く)	17:30～19:00
通用口警備業務	毎日(12 月 29 日～1 月 1 日を除く)	8:00～19:00

夜間開館は毎週金曜日に閉館時間を２０時とするものである(通常は１７時)。なお、業務予定日数については別紙２０を参照。

（ウ）業務体制

業務の遂行に当たっては、下記の条件を満たすこと。

A　警備業法上の「認定取得」の企業又は団体であること。

B　当該業務の従事者は、警備業法などの関係法令に基づき、必要な研修の履行等の条件を満たしていること。

C　現場責任者は防火・防災管理者講習修了者であること。

D　現場責任者は防災センター要員講習修了者または自衛消防業務講習修了者であること。

E　配置ポスト数は、下表を参考の上、配置すること。ただし、科学博物館からポスト数の変更の指示があった場合は、それに必要な人数を配置すること。

配置	開館日	休館日
出札業務	1	0
展示場警備業務	4	0
通用口警備業務	2	2

※展示場最終巡回業務は必要最少人員で実施する。

⑤総合案内・展示施設案内等業務

ア　総合案内・展示施設案内等業務

（ア）業務内容

業務の遂行に際しては、入館者へのサービスに努め、科学博物館が定める規則を遵守し、健全な管理運営に寄与するよう努めること。

業務時間中(天体観望売札等業務のみの時間帯は除く)、現場責任者を 1 名常駐させ、各業務の従事者に教育、指導を行うとともに、より効率的な管理体制のもとで責任を負うこと。また、従事者に対し、ＡＥＤ(自動体外式除細動器)に対応できる普通救命講習を受講させること。

従事者は、言葉遣い、態度、服装には十分注意し、明るく丁寧に応対すること。入館者に不快な思いをさせないよう充分注意すること。応対に於いて、判断しかねる場合には速やかに科学博物館職員に取り次ぎ、協力して対応し、トラブルを生じないよう努めること。

従事者の服装については清楚なものを着用し、民間事業者にて用意する制服を着用する場合は事前に科学博物館と協議すること。

外国人の入館者も多いため、従事者は、英語での基本的な応対ができる程度の語学力を有する者を配置すること。また、特に英語の語学力が優れている者を１名以上、以下のＡ～Ｄのいずれかの業務に配置すること。

A　売札業務(詳細は別紙 13)

a 個人入館券の発売(一部券売機利用)
b 団体入館券の発売
c その他売札に附随する業務

B　総合案内等業務(詳細は別紙 14)

a 各案内所における入館者等からの問い合わせへの対応
b 車椅子・ベビーカー等の貸出
c 迷子、傷病者、拾得物等の対応
d その他館内案内及び来館者対応に附随する業務

C　音声ガイド・IC カードカウンター業務(詳細は別紙 15)

a 音声ガイド・IC カードについて、入館者等への取扱説明
b 音声ガイドの有料貸出(自動券売機の案内、券売機故障時及び混雑時の手売り対応含む)
c IC カードの無料貸出

d 貸し出した音声ガイド、IC カードの回収
e 回収した IC カードの見学履歴情報のサーバー本体への送信
f ID カードの発行
g 音声ガイド、IC カードの維持管理(電池充電、電池交換、イヤホン消毒含む)
h その他音声ガイド、IC カードに関する付随業務

D　入館者誘導業務(詳細は別紙 16)

a 玄関、入館券売り場付近の来館者誘導と入場整理
b 入館料、入館方法等各種問い合わせへの対応

E　シアター３６○案内業務(詳細は別紙 17)

a シアター入り口に於いて観覧者の案内・誘導
b シアターのドーム入口で禁止事項・注意事項等のアナウンス、入場者数(定員：60 名)のカウント
c シアターのドーム内での上映操作、上映開始前の禁止・注意事項のアナウンス
d その他附随する業務

F　天体観望売札等業務(詳細は別紙 18)

a 天体観望に関する入館者・入館希望者への対応・案内
b 夜間入館券の販売
c その他附随する業務

G　たんけん広場監視業務(詳細は別紙 19)

a 展示の監視
b 観覧者が観覧上望ましくない行動を取った場合の注意喚起
c その他、入館者の質問等への対応

H　その他

a 上記以外の項目については、科学博物館等の指示により随時それに従う。

I　業務報告

a 総合案内等業務、音声ガイド・IC カードカウンター業務・たんけん広場監視業務においては、業務終了後速やかに、集計表に記録し、科学博物館

担当者に報告の上確認を受けること。

b シアター３６〇案内業務においては、業務終了後速やかに、集計表及び業務日報に記録し、科学博物館担当者に報告の上確認を受けること。

c 入館券等の金券に相当するものは、受入・払出・保管を確実に行い、日々の枚数把握が可能な状態とし、業務終了後に科学博物館職員立ち会いの上で残数の確認を受けるものとする。

d 音声ガイド利用券は、受入・払出・保管を確実に行い、日々の枚数把握が可能な状態とし、業務終了後に科学博物館職員立ち会いの上で残数の確認を受けるものとする。

e 従事者の勤務シフト表を作成し、変更がある場合には、科学博物館に報告の上、確認を受けること。

（イ）業務の実施時期・時間

業務種別		実施時間
売札業務	夜間開館日以外の開館日	8:30～17:30
	夜間開館日	8:30～20:30
総合案内等業務	夜間開館日以外の開館日	8:30～17:30
	夜間開館日	8:30～20:30
音声ガイド・IC カードカウンター業務	夜間開館日以外の開館日	8:30～17:30
	夜間開館日	8:30～20:30
入館者誘導業務	土日及び夜間開館日以外の祝日・混雑日	8:30～17:30
	夜間開館日の祝日・混雑日	8:30～20:30
シアター３６〇案内業務	夜間開館日以外の開館日	8:30～17:00
	夜間開館日	8:30～20:00
たんけん広場監視業務	夜間開館日	16:15～20:15
天体観望売札等業務	夏期(4 月～8 月)の毎月第 1、第 3 金曜日の晴天の日暮れ	19:00～22:00
	冬期(9 月～3 月)の毎月第 1、第 3 金曜日の晴天の日暮れ	18:00～21:00

夜間開館は毎週金曜日に閉館時間を２０時とするものである(通常は１７時)。

混雑日は以下の期間の平日(開館日)とし、詳細は指示する。

　混雑日：ゴールデンウィーク、学校の春期及び夏期休業期間

なお、業務予定日数については別紙２０を参照。

（ウ）業務体制

配置人員数は、下表を参考の上、配置すること。なお、これは科学博物館が最低限必要と考えるものであって、増員など仕様を上回る提案を制限するものではない。また、混雑日、企画展開催、その他の理由により科学博物館から人員数の変更の指示があった場合は、それに必要な人数を配置すること。

配置	開館日の平日	土日、祝日、混雑日
売札業務	2	2
総合案内等業務	3	3
音声ガイド・IC カードカウンター業務	2	2
入館者誘導業務	0	1
シアター３６○案内業務	4	4
計	11	12

たんけん広場監視業務は、夜間開館日のみ１名とする。

毎月第 1、第 3 金曜日に行う天体観望売札等業務は 2 人とするが、ここについては、売札業務、総合案内等業務、音声ガイド・IC カードカウンター業務、入館者誘導業務に従事していた者を宛てることも可能である。

別紙１
防災設備

点　　検　　名　　称　　等	単位	日本館	地球館	４号館		
消火器具						
消火器（10型 粉末）	本	36	133	6		
消火器（10型 強化液）	本	32	43	8		
消火器（50型 粉末）	本	1	3			
屋内消火栓設備						
加圧送水装置　※Ａ	組		1			
制御盤	面		1			
屋内消火栓	組	21	49	4		
呼水装置（100ℓ）	組		1			
起動スイッチ	個		1			
※Ａ　65φ×350ℓ/min×90m×11kw						
スプリンクラー設備						
加圧送水装置　※Ｂ	組		1			
起動装置	組		1			
流水検知装置	組	1	5	2		
端末試験装置	組	1	10	2		
スプリンクラーヘッド	個	362	1,477	186		
呼水装置（100ℓ）	組		1			
圧力スイッチ	個	1	10	2		
※Ｂ　150φ×1800ℓ/min×85m×55kw						
不活性ガス消火設備						
1)二酸化炭素消火設備						
二酸化炭素容器	基		33			
容器弁開放装置（ガス加圧式）	個		33			
起動用ガス容器（1ℓ/0.65kg）	個		5			
起動用操作函	個		5			
スピーカー	個		27			
制御盤（壁掛型）	面		1			
放出表示灯(露出型･防滴型)	個		35			
噴射ヘッド	個		50			
選択弁	個		5			
選択弁開放器	個		5			
不還弁	個		5			
ダンパー	個		26			
電源装置	組		1			
2)HFC-23消火設備						
HFC-23パッケージ（制御装置付）	組		2			
HFC-23容器（681/50kg）	本		6			
起動用ガス容器（1ℓ/0.65kg）	個		2			
手動開放装置	個		2			
放出表示灯	個		3			
スピーカー	個		2			
噴射ヘッド（GM型･GR型）	個		8			
不還弁	個		2			
ダンパー	個		4			
煙感知器（光電式）	個		2			
ｽﾎﾟｯﾄ型感知器（定温式）	個		2			
電源装置	組		2			

点　　検　　名　　称　　等	単位	日本館	地球館	４号館		
自動火災報知設備						
受信機（GR型 480回線1020ｱﾄﾞﾚｽ）	面	1				
受信機（GR型1024回線1785ｱﾄﾞﾚｽ）	面	1				
受信機（GR型 502回線1530ｱﾄﾞﾚｽ）	面	1				
副受信機(地球館Ｉ期用)	面	3	1			
副受信機(地球館Ⅱ期用)	面	3	1			
副受信機(日本館用)	面	3				
中継器	個	110	232			
ｽﾎﾟｯﾄ型感知器（差動式 自動試験機能付）	個	2		3		
ｽﾎﾟｯﾄ型感知器（定温式 防水型 自動試験機能付）	個	49	26			
ｽﾎﾟｯﾄ感知器（赤外線式 自動試験機能付）	個	2				
煙感知器（光電式 自動試験機能付）	個	309	898	87		
発信機（Ｐ型１級）	個	21	50	5		
表示灯	個	21	50	5		
消火栓起動装置	個	6				
常用電源（交流電源）	組	3				
予備電源（蓄電池）Ni-cd24V8Ah×2	組	1				
予備電源（蓄電池）Ni-cd24V3.5Ah	組	1				
予備電源（蓄電池）Ni-cd24V3.5Ah	組	1				
ガス漏れ火災警報設備						
検知器（都市ガス用）	個		50			
常用電源（交流電源）	組	2				
予備電源（蓄電池）Ni-cd24V1.65Ah	組	1				
予備電源（蓄電池）Ni-cd24V3.5Ah	組	1				
非常警報設備（非常電話を含む）						
アンプ（360W+360W+360W+360W）	台	1				
スピーカ	個	166	365	15		
遠隔操作器	台		1			
非常電話盤	面	1				
非常電話機	台	1	22			
常用電源（交流電源）	組	1				
非常電源（蓄電池）Ni-cd24V6.0Ah×2	組	4				
誘導灯設備						
誘導灯	灯	65	502	31		
防火排煙設備						
煙感知器（光電式 自動試験機能付）	個	44	143	8		
ダンパー	個	16	166			
排煙口（煙感知器連動）	個	20	126	2		
防火戸（煙感知器連動 Ｓ型）	個	47	103	7		
防火戸（煙感知器連動 Ｗ型）	個	14	2			
防火シャッター（煙感知器連動）	個		40	2		
手動開放装置	個	20	40			
排煙機	台	1	12	5		
起動盤	面	1	12	5		
電子ブザー	個		40	2		
連結送水管設備						
送水口	個		3			
放水口	個		12			

点　検　名　称　等	単位	日本館	地球館	４号館		
非常コンセント設備						
単相100V	個		30			
無線通信補助設備						
機器収容箱	台		9	1		
端子	個		6			
混合器	個		2			
２分配器（ﾘｱｸﾀﾝｽ形）	個		4			
分配器（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ形）	個		7	1		
分岐器	個		3	1		
空中線	個		8	2		
同軸ケーブル（10D-2V-DH）	m		377			
同軸ケーブル（DCXNH-20D）	m		66			
同軸ケーブル（WF-H50-7-DH）	m		105			
同軸ケーブル（WF-H50-7S-DH）	m			45		
同軸ケーブル（10D-WFLEX-DH）	m		47	66		
同軸ケーブル（10D-2E-DNH）	m		396			
漏洩同軸ケーブル（LCXNH-20D）	m		698			
漏洩同軸ケーブル（LCXNH-43D）	m			52		
操作盤						
グラフィックディスプレイ 18画面	面	1				
プリンター装置 1200点	台	1				
ＣＰＵ　2000点	式	1				

自家発電設備		
設置場所	地球館屋上	地球館Ｂ４Ｆ発電機室
発電機　種別	低圧	高圧
容量	２５０ＫＶＡ	５００ＫＶＡ
原動機　種別	ガスタービン	ガスタービン
燃料	特Ａ重油	特Ａ重油
台数	１　組	１　組
運転形式	非常用	非常用
蓄電池　種別	ＭＳＥ　始動用	ＭＳＥ
容量	１５０Ａｈ	３００Ａｈ
蓄電池　種別	ＭＳＥ　制御用	
容量	５０Ａｈ	
製造業者	川崎重工業㈱	㈱新潟鉄工所
付属機器等		自動始動盤
		発電機盤
備考	消防法及び標準仕様書に基づき業務を行うものとする。 ただし、消防法の定めによる点検業務が標準仕様書の業務内容と重複する業務は、消防法令に基づき行い、その他の業務については標準仕様書及び本仕様書によるものとする。	

別紙２

昇降機設備

エレベータ

建物名称等	日　本　館			
記　　　号	日本－１	日本－２	日本－３	日本－４
設 置 年 月	平成18年 3月	平成18年 3月	平成18年 3月	平成18年 3月
種　　　類	規格形乗用	規格形乗用	規格型乗用	規格形乗用
定 期 検 査	有	有	有	有
契 約 種 別	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス
駆 動 方 式	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御
積 載 能 力	1,000kg、15人乗り	600kg、9人乗り	900kg、13人乗り	1,000kg、15人乗り
かごの速度	45m/min	45m/min	45m/min	60m/min
運 転 方 式	乗合全自動方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式	群乗合全自動方式
停 止 階 数	５ヶ所停止	５ヶ所停止	３ヶ所停止	４ヶ所停止
遠 隔 監 視	有	有	有	有
付 加 装 置	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体
製 造 所 名	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｴﾚﾍﾞｰﾀ製造㈱	日本ｴﾚﾍﾞｰﾀ製造㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱

建物名称等	日　本　館		地　球　館	
記　　　号	日本－５	日本－６	地球－１	地荷－１
設置年月日	平成18年 3月	平成18年 3月	平成16年 3月	平成10年 1月
種　　　類	規格形乗用	規格形乗用	規格形乗用	荷物用
定 期 検 査	有	有	有	有
契 約 種 別	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス
駆 動 方 式	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御
積 載 能 力	1,000kg、15人乗り	600kg、9人乗り	900kg、13人乗り	8,000kg
かごの速度	60m/min	45m/min	105m/min	30m/min
運 転 方 式	群乗合全自動方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式	単式自動方式
停 止 階 数	４ヶ所停止	２ヶ所停止	９ヶ所停止	７ヶ所停止
遠 隔 監 視	有	有	有	無
付 加 装 置	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・停電
製 造 所 名	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	ﾀﾞｲｺｰ㈱

建物名称等	地　　球　　館			
記　　　号	地球－２	地球－３	地球－４	地球－５
設置年月日	平成15年 3月	平成15年 3月	平成15年 3月	平成15年 3月
種　　　類	規格形乗用	規格形乗用	規格形乗用	規格形乗用
定 期 検 査	有	有	有	有
契 約 種 別	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス
駆 動 方 式	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御
積 載 能 力	900kg、13人乗り	900kg、13人乗り	900kg、13人乗り	450kg、8人乗り
かごの速度	105m/min	105m/min	45m/min	45m/min
運 転 方 式	群乗合全自動方式	群乗合全自動方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式
停 止 階 数	９ヶ所停止	９ヶ所停止	３ヶ所停止	２ヶ所停止
遠 隔 監 視	有	有	有	有
付 加 装 置	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電
製 造 所 名	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱	日本ｵｰﾁｽ・ｴﾚﾍﾞｰﾀ㈱

凡例　地震：地震時管制運転装置　　　　火災：火災管制運転装置

　　　停電：停電時自動着床装置　　　　身体：車椅子仕様

昇降機設備

エレベータ

建物名称等	地　球　館		連絡通路	４ 号 館
記　　号	地球－６	地荷－２	連絡－１	４号－１
設置年月	平成15年 3月	平成15年 3月	平成15年 3月	平成16年 7月
種　　類	規格形乗用	荷物用	規格形乗用	規格形乗用
定期検査	有	有	有	有
契約種別	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス
駆動方式	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御	インバーター制御
積載能力	900kg、13人乗り	10,000kg	900kg、13人乗り	900kg、13人乗り
かごの速度	45m/min	30m/min	45m/min	45m/min
運転方式	乗合全自動方式	単式自動方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式
停止階数	２ヶ所停止	７ヶ所停止	２ヶ所停止	３ヶ所停止
遠隔監視	有	無	有	有
付加装置	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電	地震・火災・停電・身体	地震・火災・停電・身体
製造所名	日本オーチス・エレベータ㈱	日本オーチス・エレベータ㈱	日本オーチス・エレベータ㈱	日本エレベータ製造㈱

凡例　地震：地震時管制運転装置　　　　　火災：火災管制運転装置
　　　停電：停電時自動着床装置　　　　　身体：車椅子仕様

エスカレーター

建物名称等	地　球　館		連絡通路	
記　　号	地ES-1～地ES-10	地ES-11～地ES-14	通ES-1～通ES-2	通ＥＳ－３
設置年月日	平成10年 3月	平成10年 3月	平成15年 3月	平成15年 3月
種　　類	1200型	1200型	800型 全天候型	800型 全天候型 車椅子仕様
契約種別	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス	フルメンテナンス
制御方式	手動キースイッチ操作上下可逆式	手動キースイッチ操作上下可逆式	手動キースイッチ操作上下可逆式	手動キースイッチ操作上下可逆式
輸送能力	9,000人／時	9,000人／時	6,000人／時	9,000人／時
速　　度	30m/min	30m/min	30m/min	30m/min
運転方式	光電管センサーによる自動運転	光電管センサーによる自動運転	光電管センサーによる自動運転	光電管センサーによる自動運転
傾斜角度	３０度	３０度	３０度	３０度
階　　高	５ｍ	７ｍ	２．２５ｍ	１．８７ｍ
台　　数	１０台	４台	２台	１台
備　　考	安全装置・自動運転センサー・自動放送装置・故障自動通報装置	安全装置・自動運転センサー・自動放送装置・故障自動通報装置	安全装置・自動運転センサー・自動放送装置・故障自動通報装置	安全装置・自動運転センサー・自動放送装置・故障自動通報装置
製造所名	ダイコー㈱	ダイコー㈱	日本オーチス・エレベータ㈱	日本オーチス・エレベータ㈱

建物名称等	連絡通路			
記　　号	通ES-4～通ES-7			
設置年月日	平成15年 3月			
種　　類	1200型			
契約種別	フルメンテナンス			
制御方式	手動キースイッチ操作上下可逆式			
輸送能力	9,000人／時			
速　　度	30m/min			
運転方式	光電管センサーによる自動運転			
傾斜角度	３０度			
階　　高	５ｍ			
台　　数	４台			
備　　考	安全装置・自動運転センサー・自動放送装置・故障自動通報装置			
製造所名	日本オーチス・エレベータ㈱			

別紙３
ボイラー設備

設備番号	Ｂ－Ｂ４０１	Ｂ－Ｂ４０２	Ｂ－Ｂ４０３・Ｂ４０４
種　　類	貫流式ボイラー	貫流式ボイラー	貫流式ボイラー
仕　　様	形式：ＳＴＧ５００ＧＸ	形式：ＳＴＥ５００ＧＸ	形式：ＳＴＥ５０２ＧＮＸＭ
	最高使用圧力：10kgf/㎠	最高使用圧力：10kgf/㎠	最高使用圧力：10kgf/㎠
	燃料種別：都市ガス	燃料種別：都市ガス	燃料種別：都市ガス
	伝熱面積：４．９６㎡	伝熱面積：４．９６㎡	伝熱面積：４．７９㎡
	発生熱量：269,000kcal	発生熱量：269,000kcal	定格出力：269,000kcal
製造所名	荏原ボイラ㈱	荏原ボイラ㈱	荏原ボイラ㈱
台　　数	１台	１台	２台
設置場所	地球館B4F機械室	地球館B4F機械室	地球館B4F機械室
設置年月	平成10年 1 月	平成11年 7 月	平成15年 3 月
業務種別	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)
性能検査の有無	無	無	無
備　　考	マイコン制御	マイコン制御	マイコン制御
	自動ブロー装置付	自動ブロー装置付	自動ブロー装置付
	薬注装置付	薬注装置付	薬注装置付

別紙４
冷凍機等整備

設備番号	ＧＲ－Ｂ４０１	ＧＲ－Ｂ４０２
種　　類	吸収冷温水機	吸収冷温水機
仕　　様	形式：ＲＡＤ－ＧＬ０２３Ｓ	形式：ＲＡＤ－ＧＬ０１３Ｓ
	最高使用圧力：８ kgf/㎠	最高使用圧力：８ kgf/㎠
	燃料種別：都市ガス	燃料種別：都市ガス
	伝熱面積：15.6㎡	伝熱面積：9.2㎡
	冷却能力：200USRT	冷却能力：100USRT
製造所名	㈱荏原製作所	㈱荏原製作所
台　　数	２台	１台
設置場所	地球館B4F機械室	地球館B4F機械室
設置年月	平成10年 1 月	平成10年 1 月
業務種別	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)
保安検査の有無	無	無
備　　考		
設備番号	ＧＲ－Ｂ４０３	ＧＲ－Ｂ４０４・Ｂ４０５
種　　類	吸収冷温水機	吸収冷温水機
仕　　様	形式：ＲＣＤＧＬ０４５Ｍ	形式：ＲＣＤＧＬ０４０Ｍ
	最高使用圧力：８ kgf/㎠	最高使用圧力：８ kgf/㎠
	燃料種別：都市ガス	燃料種別：都市ガス
	伝熱面積：29.5㎡	伝熱面積：5.7㎡
	冷却能力：350USRT	冷却能力：330USRT
製造所名	㈱荏原製作所	㈱荏原製作所
台　　数	１台	２台
設置場所	地球館B4F機械室	地球館B4F機械室
設置年月	平成11年 7 月	平成15年 3 月
業務種別	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)
保安検査の有無	無	無
備　　考		

設備番号	ＣＴ－Ｒ１０１・Ｒ１０２	ＣＴ－Ｒ１０３	ＣＴ－Ｒ１０４
種　　類	冷却塔	冷却塔	冷却塔
仕　　様	冷却能力：1,207,800kcal/h	冷却能力：617,100kcal/h	冷却能力：617,100kcal/h
	冷却水量：3,660ℓ/min	冷却水量：1,870ℓ/min	冷却水量：1,870ℓ/min
	形式：ｸﾛｽｸﾛｰ 開放型 超低騒音形	形式：ｸﾛｽｸﾛｰ 開放型 超低騒音形	形式：ｸﾛｽｸﾛｰ 開放型 超低騒音形
台　　数	２台	１台	１台
製造所名	空研工業㈱	空研工業㈱	空研工業㈱
設置場所	地球館屋上	地球館屋上	地球館屋上
設置年月	平成10年 1 月	平成10年 1 月	平成11年 7 月
業務種別	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)	点検及び保守(年点検)
備　　考			
設備番号	ＣＴ－Ｒ１０５・Ｒ１０６		
種　　類	冷却塔		
仕　　様	冷却能力：1,207,800kcal/h		
	冷却水量：5,670ℓ/min		
	形式：ｸﾛｽｸﾛｰ 開放 型超低騒音形		
台　　数	２台		
製造所名	空研工業㈱		
設置場所	地球館屋上		
設置年月	平成15年 3 月		
業務種別	点検及び保守(年点検)		
備　　考			

別紙５

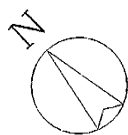
給排水衛生機器整備

Ⅰ.給水槽清掃・点検　　　　　　　　　　　　　　　　点検回数は１年当たりとする。

名　称	仕　様	清掃点検回数	設置場所
①受水槽(飲料用)	28.0㎥(14.0×2槽)　3.5×3.0×3.0mH 室内設置型　FRP複合板製　中仕切付 三菱樹脂製(株)　1998年製　１基	１回	地球館Ⅰ期 地下４階受水槽室
②受水槽(飲料用)	23.0㎥　3.5×2.5×3.0mH 室内設置型　FRP複合板製 三菱樹脂製(株) 1998年製　１基	１回	地球館Ⅰ期 地下４階受水槽室
③雨水沈砂･貯留槽 (雑用水用)	沈砂槽　30.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 5.5×5.35×1.02mH 貯留槽　80.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 5.5×4.55×1.02mH×2槽 5.5×5.35×1.02mh 2003年製	１回	地球館Ⅱ期 地下４階ﾎﾟﾝﾌﾟ室
④雨水・都水受水槽(雑用水用)	112.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1998年製　１基	１回	地球館Ⅰ期 地下４階受水槽室
⑤高置水槽 (飲料水用)	20.0㎥(10.0×2槽)　3.0×2.5×3.0mh 屋上階設置型　FRP複合板製　中仕切付 三菱樹脂製(株) 1998年製　１基	１回	地球館Ⅰ期 屋上階機械置場
⑥高置水槽 (雑用水用)	8.0㎥(4.0×2槽)　3.0×1.0×3.0mH 屋上階設置型　FRP複合板製　中仕切付 三菱樹脂製(株)　1998年製　１基	１回	地球館Ⅰ期 屋上階機械置場
⑦揚水ポンプ (飲料用)	65A×11kw×0.36㎥/㎜×70m　(株)荏原製作所製 65MSN7511形　1998年製　２台	１回	地球館Ⅰ期 地下４階受水槽室
⑧雨水処理装置 (雑用水用) 市田化学㈱製	全自動逆洗式砂ろ過装置(IRF-55FA型) 処理水量:5㎥ ﾎﾟﾝﾌﾟ:40A×0.09㎥/㎜×18m×0.75kw (40FQN5.75型㈱荏原製作所製) 自動5方弁(ろ過･逆洗･洗浄)　2003年製　１組 薬液注入装置 ﾎﾟﾝﾌﾟ:30cc/分×10Kg/c㎡×15w(1φ200V) (PX-31-CL-HW型,㈱ﾀｸﾐﾅ製) ﾀﾝｸ:PE製100ﾘｯﾄﾙ　2003年製　１組 動力制御盤 沈砂･貯留槽及び受水槽水位制御用運転･警報表示等。 地球館Ⅱ期MB1F中央監視室中央監視盤にろ過ﾎﾟﾝﾌﾟ　運転状態及び一括警報　2003年製　１式	１回	地球館Ⅱ期 地下４階ﾎﾟﾝﾌﾟ室
⑨汚泥引き抜き用ﾎﾟﾝﾌﾟ (雑用水用)	汚水水中ﾎﾟﾝﾌﾟ80A×0.2㎥/㎜×37m×11kw (SE5-815ED型) ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ(3個)付(FS型 満･ON･OFF(減水)) ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　2003年製　１台	１回	地球館Ⅱ期 地下４階ﾎﾟﾝﾌﾟ室 沈砂槽内
⑩揚水ポンプ (雑用水用)	65A×11kw×0.36㎥/㎜×70m　(株)荏原製作所製 65MSN7511形　1998年製　２台	１回	地球館Ⅰ期 地下４階受水槽室
⑪加圧ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ (飲料用)	65A×3.7kw×0.8㎥/㎜×20m×2台 並列交互運転　(株)荏原製作所製 65BNBMD3.7型　2003年製　１組	１回	地球館Ⅰ期 屋上階機械置場ﾎﾟﾝﾌﾟ室
⑫加圧ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ (雑用水用)	40A×1.5kw×0.42㎥/㎜×20m×2台 並列交互運転　(株)荏原製作所製 40BNBMD型　1998年製　１組	１回	地球館Ⅰ期 屋上階機械置場ﾎﾟﾝﾌﾟ室

Ⅱ.排水槽清掃・点検　　　　　　　　　　　　　　　　　点検回数は１年当たりとする。

番号	記　号・名　　称	仕　　　　　　　　　様	清掃点検回数	設 置 場 所
雑 6	雑槽-地球Ⅰ-B401 雑排水槽	2.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1998年製　１槽	３回	地球館Ⅰ期 B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室
雑 7	雑槽-地球Ⅱ-B401 雑排水槽	3.9㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 2003年製　１槽	３回	地球館Ⅱ期　B4F 西側階段下倉庫
雑 8	雑槽-地球Ⅱ-B402 雑排水槽	4.9㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 (ﾎﾞｲﾗｰﾌﾞﾛｰ水含む)　2003年製　１槽	３回	地球館Ⅱ期 B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室
雑 9	厨排-地球Ⅱ-B401 接触調整槽	44.0㎥　(2区切り計(7.5+36.5㎥)) 地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 厨房排水除外設備用　2003年製　１槽	１回	地球館Ⅱ期　B4F 排水処理室･電気予備室･電気室･廊下
雑10	厨排-地球Ⅱ-B402 放流槽	4.9㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 厨房排水除外設備用　2003年製　１槽	１回	地球館Ⅱ期　B4F 排水処理室
雑11	雑排-サブ-B101 雑排水槽	1.0㎥　ｺﾝｸﾘｰﾄ製排水ピット 2004年製　１槽	３回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰ　B1F
汚 2	汚槽-４号-B201 汚水槽	2.53㎥(全容量19.3㎥) 地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1973年製(2004年改修)　１槽	３回	４号館 B2F排煙機室
汚 3	汚槽-地球Ⅰ-B401 汚水槽	4.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1998年製　１槽	３回	地球館Ⅰ期 B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室
汚 4	汚槽-地球Ⅱ-B401 汚水槽	5.3㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 2003年製　１槽	３回	地球館Ⅱ期　B4F 西側階段下倉庫
雨 4	雨槽-地球Ⅰ-B401 雨水槽	15.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1998年製　１槽	１回	地球館Ⅰ期　B4F 機械室(東ﾏｼﾝﾊｯﾁ側)
雨 5	雨槽-地球Ⅰ-B402 雨水槽	9.0㎥　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 1998年製　１槽	１回	地球館Ⅰ期　B4F 受水槽室(北ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ側)
雨 6	雨槽-サブ-外01 雨水槽	1.05㎥　ｺﾝｸﾘｰﾄ製排水ﾋﾟｯﾄ 2004年製　１槽	１回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰﾄﾞﾗｲｴﾘｱ
雨 7	雨槽-シア-B301 雨水槽	1.14㎥(釜場のみ)　地下ﾋﾟｯﾄ式ｺﾝｸﾘｰﾄ製 2004年製　１槽	１回	シアター36○　B3F ｻｰﾊﾞｰ室
グ 1	グリ-地球Ⅱ-M201 グリストラップ	0.2㎥　ＳＵＳ製 2003年製　１基	３回	地球館Ⅱ期　M2F 食堂厨房内
雑P6	雑排水水中ポンプ (雑槽-地球Ⅰ-B401内)	80A×15kw×0.2㎥/min×42m (株)あづまﾎﾟﾝﾌﾟ製　NOS-U80形 1998年製　２台	３回	地球館Ⅰ期　B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室床下雑排水槽内
雑P7	雑排水水中ポンプ (雑槽-地球Ⅱ-B401内)	80A×11kw×0.1㎥/min×37m 正和水中ﾎﾟﾝﾌﾟ㈱製　ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ付 2003年製　２台	３回	地球館Ⅱ期 B4F西側階段下倉庫床下雑排水槽内
雑P8	雑排水水中ポンプ (雑槽-地球Ⅱ-B402内)	80A×11kw×0.1㎥/min×37m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ付 2003年製　２台	３回	地球館Ⅱ期 B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室床下雑排水槽内
雑P11	雑排水水中ポンプ (雑槽-サブ-B101内)	50A×0.4kw×0.05㎥/min×8m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50PV-5.4形 2006年製　２台	３回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰB1F雑排水槽内
汚P2	汚水水中ポンプ (汚槽-４号-B201内)	80A×3.7kw×0.20㎥/min×18m ㈱荏原製作所製　80DL53.7形 2004年製　２台	３回	４号館Ｂ２Ｆ排煙機室床下汚水槽内
汚P3	汚水水中ポンプ (汚槽-地球Ⅰ-B401内)	80A×15kw×0.2㎥/min×38m (株)あづまﾎﾟﾝﾌﾟ製　BOLOS-U80形 1998年製　２台	３回	地球館Ⅰ期　B4Fﾎﾟﾝﾌﾟ室床下汚水槽内
汚P4	汚水水中ポンプ (汚槽-地球Ⅱ-B401内)	100A×15kw×0.2㎥/min×37m 正和水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(株)製　ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ付 2003年製　２台	３回	地球館Ⅱ期　B4F 西側階段下倉庫床下汚水槽内
雨P2	雨水排水水中ポンプ	80A×3.7kw×0.2㎥/min×11m	３回	地下連絡通路(北

	(雨槽-地連-MB101内)	(株)あづまﾎﾟﾝﾌﾟ製　NOS-U80形 1998年製　　２台		側)床下排水ﾋﾟｯﾄ内
雨P3	雨水排水水中ポンプ(雨槽-地連-MB102内)	50A×0.75kw×0.1㎥/㎜×11m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ付 2003年製　　２台	３回	地下連絡通路(北側･ESC下通路部)床下排水ﾋﾟｯﾄ内
雨P4	雨水排水水中ポンプ(雨槽-地球Ⅰ-B401内)	80A×15kw×0.2㎥/×40m (株)あづまﾎﾟﾝﾌﾟ製　NOS-U80形 1998年製　　２台	３回	地球館Ⅰ期　B4F機械室床下雨水槽内 (東ﾏｼﾝﾊｯﾁ側)
雨P5	雨水排水水中ポンプ(雨槽-地球Ⅰ-B402内)	80A×15kw×0.2㎥/㎜×40m (株)あづまﾎﾟﾝﾌﾟ製　NOS-U80形 1998年製　　２台	３回	地球館Ⅰ期　B4F受水槽室床下雨水槽内(北ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ側)
雨P6	雨水排水水中ポンプ(雨槽-サブ-外01内)	50A×0.4kw×0.05㎥/㎜× 8m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50PV-5.4形 2006年製　　２台	３回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰﾄﾞﾗｲｴﾘｱ雨水槽内
雨P7	雨水排水水中ポンプ(雨槽-シア-B301内)	50A×1.5kw×0.15㎥/㎜× 10m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50SSU-51.5形 2006年製　　２台	３回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰﾄﾞﾗｲｴﾘｱ雨水槽内
湧P7	湧水排水水中ポンプ(湧槽-４号-B201内)	50A×1.5kw×0.20㎥/㎜×18m ㈱荏原製作所製　50DS51.5形 2004年製　２台	３回	４号館Ｂ２Ｆ排煙機室床下湧水槽内
湧P8	湧水排水水中ポンプ(湧槽-サブ-B101内)	50A×0.4kw×0.05㎥/㎜×8m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50PV-5.4形 2006年製　２台	３回	ｻﾌﾞｾﾝﾀｰB1F湧水槽内
湧P9	湧水排水水中ポンプ(湧槽-共同-01内)	50A×0.4kw×0.05㎥/㎜×8m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50PV-5.4形 2006年製　２台	３回	共同溝内(地下連絡通路－日本館南翼)
湧P10	湧水排水水中ポンプ(湧槽-シア-B301内)	50A×1.5kw×0.15㎥/㎜×14m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50SSU-51.5形 2006年製　２台	３回	ｼｱﾀｰ360　B3Fｴﾚﾍﾞｰﾀ乗場床下湧水槽内
湧P11	湧水排水水中ポンプ(湧槽-シア-B302内)	50A×1.5kw×0.15㎥/㎜×14m ㈱ﾃﾗﾙｷｮｸﾄｳ製　50SSU-51.5形 2006年製　２台	３回	ｼｱﾀｰ360　B3Fｽｸﾘｰﾝ下部ﾋﾟｯﾄ床下湧水槽内

国立科学博物館上野地区給水槽配置図　S＝1／800
公道巾員
21m
N
日本館
4号館
BLV
サブセンター
地下連絡通路
地球館
EV
外部倉庫
③雨水沈砂・貯留槽（雑用水用）（B4Fポンプ室）
⑩雨水処理装置（雑用水用）（B4Fポンプ室）
⑪汚泥引き抜き用ポンプ（雑用水用）
（B4Fポンプ室沈砂槽内）
⑤高置水槽（飲料用）（RF機械置場）
⑥高置水槽（雑用水用）（RF機械置場）
⑬加圧ポンプユニット（飲料用）（RF機械置場ポンプ室）
⑭加圧ポンプユニット（雑用水用）（RF機械置場ポンプ室）
①受水槽（飲料用）（B4F受水槽室）
②受水槽（飲料用）（B4F受水槽室）
④雨水・都水受水槽（雑用水用）（B4F受水槽室）
⑨揚水ポンプ（飲料用）（B4F受水槽室）
⑫揚水ポンプ（雑用水用）（B4F受水槽室）
⑦消火水槽（B4F機械室）
⑧消火充水槽（RF）

湧8（湧槽ーサブーB101（ポンプ点検は本業務））
雑11（雑槽ーサブーB101）
汚2（汚槽ー4号ーB201）
湧7（湧槽ー4号ーB201（ポンプ点検は本業務））
湧3（湧槽ー地球Ⅱ−B4NW01）
雑8（雑槽ー地球Ⅱ−B402）
雑10（厨排ー地球Ⅱ−B402）
雑9（厨排ー地球Ⅱ−B401）
雑7（雑槽ー地球Ⅱ−B401）
汚4（汚槽ー地球Ⅱ−B401）
湧6（湧槽ー地球Ⅱ−B4SW01）
湧5（湧槽ー地球Ⅱ−B4SE01）
グ1（グリー地球Ⅱ−M201）
湧4（湧槽ー地球Ⅱ−B4NE01）
雨6（雨槽ーサブー外01）
公道巾員
21m
日本館
湧11（湧槽ーシアーB301（ポンプ点検は本業務））
サブセンター
4号館
雨7（雨槽ーシアーB301）
湧01（湧槽ーシアーB301（ポンプ点検は本業務））
地下連絡通路
雨3（雨槽ー地連ーMB102（ポンプ点検は本業務））
雨2（雨槽ー地連ーMB101（ポンプ点検は本業務））
雑6（雑槽ー地球Ⅰ−B401） 汚3（汚槽ー地球Ⅰ−B401）
雨5（雨槽ー地球Ⅰ−B402）
湧1（湧槽ー地球Ⅰ−B401）
湧2（湧槽ー地球Ⅰ−B402）
雨4（雨槽ー地球Ⅰ−B401）
地球館
EV
外部倉庫
N
国立科学博物館上野地区排水槽配置図 S＝1／800

別紙６
高圧受変電設備

受変電設備	３相３線式５０Ｈｚ　契約電力１，３００ｋｗ
設置場所	地球館地下４階電気室（２箇所）・日本館地下１階電気室
設備概要	受電電圧　６ｋｖ
	変圧器総容量　５，８５０ＫＶＡ
	高圧閉鎖盤　１９面　継電器　３０台
	高圧遮断機　２２台　高圧開閉器　３０台
	自家発電機　定格出力　２５０ＫＶＡ　定格電圧　２００Ｖ
	自家発電機　定格出力　５００ＫＶＡ　定格電圧　６，６００Ｖ
	低圧閉鎖盤　２８面
備考	電話交換機用に仮設電気（発電機　３相２００Ｖ　１台）を用意すること。

別紙７

直流電源設備

設置場所	日本館B1F電気室	地球館B4F電気室		
定格電圧	２００Ｖ	２００Ｖ	２００Ｖ	
台数	１台	１台	１台	
蓄電池種別	ＭＳＥ	ＭＳＥ	ＭＳＥ	
蓄電池容量	100(Ah) 54セル	300(Ah) 54セル	500(Ah) 54セル	
製造者名	日本電池㈱	新神戸電機㈱	古河電池㈱	
備考	消防法による消防用設備の非常用電源	消防法による消防用設備の非常用電源	消防法による消防用設備の非常用電源	

別紙８
構内電話交換機設備

項目		内容	
設置場所		地球館Ｂ２Ｆ中央監視室	
種別		電子デジタル交換機	
回線数	内線(アナログ)	１１２／１４４　回線	
	内線(デジタル)	１０２／１１２　回線	
	局線	２８／　３２　回線	
	専用線	６／　１６　回線	
中継方式		中継台併用ダイヤルイン方式	
附属装置等	中継台	無紐式 据置型　２台	
	課金装置	１台	
	音声装置	１台	
	保守ｺﾝｿｰﾙ	１台	
蓄電池種別		ＨＳＥ	
蓄電池容量（Ａｈ）		２４Ｖ２６０Ａｈ	
（セル）			
製造者名		日本電気㈱	
備考		平成15年３月設置	

別紙９

自動ドア点検保守

設備名	自動ドア	
設置場所	日本館 地球館Ⅰ期･Ⅱ期 ４号館	
仕様	数量　１９面	
点検回数	４回／年	
備考	標準仕様書による。	

別紙１０
監視制御設備

設 備 名	中央監視制御設備（機械関係）	中央監視制御設備（電気関係）
施設場所	地球館B1F中央監視室	地球館B1F中央監視室
仕　　様	松下電工ビルシステム㈱製	㈱山武ビルシステムカンパニー製
	・中央監視盤系統　一式	・中央監視装置　一式
	・ﾛｰｶﾙｽﾃｰｼｮﾝ廻り系統　一式	システム本体
	・監視点数(参考)　一式	周辺機器 ディスプレイ・プリンター
	発停　４００点	ｴﾘｱｺﾝﾄﾛｰﾙﾏｽﾀ･ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ
	発停状態警報　２８点	無停電電源装置
	発停状態　４６点	リーモト系統
	状態　１９２点	監視点数(参考) ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾎﾟｲﾝﾄ　371ﾎﾟｲﾝﾄ
	状態警報　６４５点	ｱﾅﾛｸﾞﾎﾟｲﾝﾄ　89ﾎﾟｲﾝﾄ
	警報　３０４点	積算ﾎﾟｲﾝﾄ　64ﾎﾟｲﾝﾄ
	計測　２９８点	
	設定　３３５点	
	積算　１０１点	
点検回数	１回／年	１回／年
備　　考	点検建物は上野地区全館	点検建物は上野地区全館

設 備 名	自動制御設備（機械関係）	
施設場所	上野地区全館	
仕　　様	松下電工ビルシステム㈱製	
	・熱源機器廻り系統　一式	
	・空調機制御系統　一式	
	・受水槽制御系統　一式	
	・計測系統等　一式	
	・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ系統　一式	
点検回数	１回／年	
備　　考	点検建物は上野地区全館	

別紙１１

建物設備運転監視等業務

設　備　名　称	設　置　場　所	設　備　概　要　等	数 量	運転期間	運転時間
受変電設備	地球館B4F電気室	6.6KV 4,750KVA	一 式	通　年	8:30～17:15
	日本館B1F電気室	6.6KV　900KVA	一 式	通　年	8:30～17:15
自家発電設備	地球館B4F電気室	250KVA 非常用	1	通　年	停電時・自動運転
	地球館屋上	500KVA 非常用	1	通　年	停電時・自動運転
直流電源設備	地球館B4F電気室	500Ah54ｾﾙ 非常用・操作用	1	通　年	8:30～17:15
	地球館B4F電気室	300Ah54ｾﾙ 非常用・操作用	1	通　年	8:30～17:15
	日本館B1F電気室	100Ah54ｾﾙ 非常用・操作用	1	通　年	8:30～17:15
太陽光発電設備	地球館屋上	30KVA	一 式	通　年	8:30～17:15
電灯・動力設備	上野地区全館	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ・分電盤等	一 式	通　年	8:30～17:15
情報通信設備	上野地区全館	電話交換機・電気時計・ﾃﾚﾋﾞ共同受信等	一 式	通　年	8:30～17:15
中央監視設備	上野地区全館		一 式	通　年	8:30～17:15
防災設備	上野地区全館	自動火災報知設備・屋内消火栓・防火排煙設備等	一 式	通　年	8:30～17:15
構内電力・通信線路	上野地区全域		一 式	通　年	8:30～17:15
避雷設備	地球館・日本館屋上		一 式	通　年	8:30～17:15
温熱源機器	地球館B4F機械室	貫流式ﾎﾞｲﾗｰ 伝熱面積4.96㎡	2	11月～３月	8:30～17:15
	地球館B4F機械室	貫流式ﾎﾞｲﾗｰ 伝熱面積4.79㎡	2	11月～３月	8:30～17:15
冷熱源機器	地球館B4F機械室	吸収冷温水機 200USRT	2	通　年	8:30～17:15
	地球館B4F機械室	吸収冷温水機 100USRT	1	通　年	8:30～17:15
	地球館B4F機械室	吸収冷温水機 350USRT	1	通　年	8:30～17:15
	地球館B4F機械室	吸収冷温水機 330USRT	2	通　年	8:30～17:15
冷熱源機器	地球館屋上	冷却塔 400USRT	2	６月～９月	8:30～17:15
	地球館屋上	冷却塔 200USRT	2	６月～９月	8:30～17:15
	地球館屋上	冷却塔 600USRT	2	６月～９月	8:30～17:15
冷暖房機器	上野地区全館	空調機・送風機等	一 式	通　年	8:30～17:15
給排水衛生設備	上野地区全館	ポンプ・衛生器具等	一 式	通　年	8:30～17:15
昇降機設備	上野地区全館	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ・ｴｽｶﾚｰﾀｰ	一 式	通　年	8:30～17:15
中央監視設備	上野地区全域		一 式	通　年	8:30～17:15
建物及びその他設備	上野地区全館		一 式	通　年	8:30～17:15

別紙12

清掃内容一覧表

【 日本館事務フロア・床 面 】

清 掃 場 所		面積（㎡）	材 質	回 数（日常清掃）	回 数（定期清掃）
日本館B1	廊下	72	ビニール床シート	週2回	年2回
	多目的室	114	カーペット	－	年2回
	施設課	72	カーペット	－	年2回
	実習生講義室	23	カーペット	－	年2回
	ボランティア控室	46	カーペット	－	年2回
	事務棟階段等	12	ビニール床シート	週2回	年2回
日本館1F	メモリアルルーム	48	絨毯	－	年2回
	学習企画調整課分室	25	カーペット	－	年2回
	研究者控室	23	カーペット	－	年2回
	学習企画調整課	67	カーペット	－	年2回
	中会議室	46	カーペット	週1回	年2回
	広報・サービス課、連携協力課	108	カーペット	－	年2回
	守衛室	47	カーペット	－	年2回
	救護室	23	カーペット	－	年2回
	事業推進部会議室	23	カーペット	－	年2回
	トイレ（男）	14	カーペット	毎日	－
	トイレ（女）	16	ビニール床シート	毎日	－
	分館控室（学習）	12	カーペット	－	年2回
	コピー室	12	ビニール床シート	週1回	年2回
	事務棟廊下	140	ビニール床シート	週2回	年2回
	事務棟階段	24	ビニール床シート	週2回	年2回
	旧裏玄関	20	石	―	－
日本館2F	財務課	13	カーペット	－	年2回
	給湯室	10	カーペット	－	年2回
	財務課、経営管理課	112	カーペット	－	年2回
	事業推進部長室	23	カーペット	－	年2回
	展示総括室、特別展室	78	ビニール床シート	－	年2回
	講堂控室	17	ビニール床シート	－	年2回
	講堂	281	ビニール床シート他	週1回	年2回
	コピー室	23	ビニール床シート	週1回	年2回
	事務棟廊下	76	ビニール床シート	週2回	年2回
	事務棟階段等	24	ビニール床シート	週2回	年2回
日本館3F	事務棟廊下	50	ビニール床シート	週2回	年2回
	事務棟廊下	24	絨毯	なし	年2回
	事務棟階段等	24	ビニール床シート	週2回	年2回
	館長室	69	絨毯	－	年2回
	理事室	23	絨毯	－	年2回
	監事室	23	絨毯	－	年2回
	経営管理課	60	カーペット	－	年2回
	経営管理部長室	23	カーペット	－	年2回
	応接室	23	カーペット	－	年2回
	トイレ（男）	14	ビニール床シート	毎日	－
日本館3F	トイレ（女）	16	ビニール床シート	毎日	－
日本館4F	大会議室	98	カーペット	週1回	年2回

	トイレ(男)	8	ビニール床シート	週3回	−
	トイレ(女)	4	ビニール床シート	週3回	−
	事務棟廊下	41	カーペット	週2回	年2回
エレベーター(2機)		5	ビニール床シート	毎日	−

【 日本館展示フロア・床 面 】

清　掃　場　所		面積(㎡)	材　　質	回数(日常清掃)	回数(定期清掃)
日本館B1	エントランスホール	463	石	毎日	年2回
	ラウンジ	370	ビニール床シート他	毎日	年2回
	階段等(北翼)	46	木床	毎日	年2回
	階段等(南翼)	46	木床	週2回	年2回
	トイレ(男・女・多目的)	48	ビニール床シート	毎日2回	−
	階段(ホール)	93	石	毎日	年2回
	通路	277	ビニール床シート	毎日	年2回
	シアター36〇	466	ビニール床シート	毎日	年2回
日本館1F	車寄せ	114	石	週3回	年2回
	旧正面玄関(閉鎖)	50	石	−	年2回
	ホール	268	石	毎日	年2回
	展示室(北翼)	320	木床	週4回	年2回
	階段等(北翼)	79	石	週4回	年2回
	展示室(南翼)	320	木床	週4回	年2回
	階段等(南翼)	79	石	週4回	年2回
	階段(ホール)	79	石	毎日	年2回
	通路	24	ビニール床シート	毎日	年2回
	トイレ(男・女・多目的)	32	ビニール床シート	毎日	−
日本館2F	回廊	168	木床	毎日	年2回
	展示室(北翼)	316	木床	週4回	年2回
	踊り場(北翼)	33	木床	週4回	年2回
	階段(北翼)	41	石	週4回	年2回
	展示室(南翼)	316	木床	週4回	年2回
	踊り場(南翼)	33	木床	週4回	年2回
	階段(南翼)	41	石	週4回	年2回
	階段(ホール)	79	石	毎日	年2回
	通路	24	ビニール床シート	毎日	年2回
	トイレ(男・女・多目的)	48	ビニール床シート	毎日	−
日本館3F	回廊	168	木床	毎日	年2回
	展示室(北翼)	325	木床	週4回	年2回
	踊り場(北翼)	33	木床	週4回	年2回
	階段(北翼)	41	石	週3回	年2回
	展示室(南翼)	325	木床	週4回	年2回
	踊り場(南翼)	33	木床	週4回	年2回
	階段(南翼)	41	石	週4回	年2回
	階段(ホール)	79	石	毎日	年2回
	通路	24	ビニール床シート	毎日	年2回
	トイレ(男・女・多目的)	32	ビニール床シート	毎日	−
エレベーター(4台)		9	ビニール床シート	毎日	−

【 みどり館・床 面 】

清　掃　場　所		面積(㎡)	材　　　質	回　　数 (日常清掃)	回　　数 (定期清掃)
みどり館B1	展示室	405	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段等	42	ビニール床シート	週3回	年2回
	トイレ(男)	10	ビニール床シート	毎日	−
	〃　(女)	10	ビニール床シート	毎日	−
	〃　(身障者)	10	ビニール床シート	毎日	−
みどり館1F	エレベーターホール	49	ビニール床シート	週3回	年2回
エレベーター(1台)		2	ビニール床シート	週3回	―

【 地球館Ⅰ期・床 面 】

清　掃　場　所		面積(㎡)	材　　　質	回　　数 (日常清掃)	回　　数 (定期清掃)
地球館Ⅰ期B3F	展示室	460	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	203	ビニール床シート	週4回	年2回
	廊下	54	ビニール床シート	週4回	年2回
	トイレ(男)	14	大理石	毎日	−
	〃　(女)	20	大理石	毎日	−
	〃　(多目的)	7	大理石	毎日	−
	階段(北側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃　(南側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅰ期B2F	展示室	464	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	208	ビニール床シート	週4回	年2回
	廊下	54	ビニール床シート	週4回	年2回
	トイレ(男)	14	大理石	毎日	−
	〃　(女)	20	大理石	毎日	−
	〃　(多目的)	7	大理石	毎日	−
	階段(北側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃　(南側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅰ期B1F	展示室	464	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	208	大理石	週4回	年2回
	廊下	54	大理石	週4回	年2回
	トイレ(男)	14	大理石	毎日	−
	〃　(女)	20	大理石	毎日	−
	〃　(多目的)	7	大理石	毎日	−
	階段(北側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃　(南側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅰ期MB1F	エスカレーターロビー	182	大理石	毎日	年2回
	階段(北側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃　(南側)	30	ビニール床シート	週2回	年2回
	連絡通路	173	石	毎日	年2回
	地下連絡通路	115	大理石	毎日	年2回
地球館Ⅰ期1F	展示室	473	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	173	大理石	毎日	年2回
	廊下	72	大理石	毎日	年2回
	〃	24	ビニール床シート	毎日	年2回
地球館Ⅰ期1F	〃	45	大理石	毎日	年2回
	トイレ(男)	14	大理石	毎日2回	−
	トイレ(女)	22	大理石	毎日2回	−
	トイレ(多目的)	7	大理石	毎日2回	−

	階段（北側）	32	ビニール床シート	週3回	年2回
	〃（南側）	32	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅰ期M2F	エスカレーターロビー	129	大理石	毎日	年2回
	廊下	49	大理石	毎日	年2回
	〃	31	大理石	毎日	年2回
	階段（北側）	32	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃（南側）	32	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅰ期2F	展示室	471	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	173	ビニール床シート	週4回	年2回
	廊下	74	ビニール床シート	週4回	年2回
	〃	25	ビニール床シート	週4回	年2回
	〃	51	ビニール床シート	週4回	年2回
	トイレ（男）	14	大理石	毎日	－
	〃（女）	22	大理石	毎日	－
	〃（多目的）	7	大理石	毎日	－
	階段（北側）	32	ビニール床シート	週2回	年2回
	〃（南側）	32	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅰ期3F	展示室	471	ビニール床シート	週4回	年2回
	エスカレーターロビー	173	ビニール床シート	週4回	年2回
	廊下	74	ビニール床シート	週4回	年2回
	〃	27	ビニール床シート	週4回	年2回
	〃	51	ビニール床シート	週4回	年2回
	トイレ（男）	14	大理石	毎日2回	－
	〃（女）	22	大理石	毎日2回	－
	〃（多目的）	7	大理石	毎日2回	－
エレベーター（2台）		5	ビニール床シート	毎日	－
エスカレーター		17台		毎日	－

【 地球館Ⅱ期・床 面 】

清　掃　場　所		面積（㎡）	材　質	回　数（日常清掃）	回　数（定期清掃）
地球館Ⅱ期B4F	廊下	80	ビニール床シート	週2回	年2回
	トイレ（男）	7	ビニール床シート	毎日	－
	トイレ（女）	6	ビニール床シート	毎日	－
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室	14	ビニール床シート	週3回	年2回
	資料準備室－3	36	ビニール床シート	－	年2回
	会議室	37	ビニール床シート	－	年2回
	資料準備室－1	28	ビニール床シート	－	年2回
	資料準備室－2	29	ビニール床シート	－	年2回
	EVホール	14	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期B3F	トイレ（男）	13	石	毎日	－
	トイレ（女）	15	石	毎日	－
	トイレ（多目的）	8	石	毎日	－
地球館Ⅱ期B3F	廊下－1	18	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室－1	6	ビニール床シート	週3回	年2回
	廊下－2	18	ビニール床シート	週3回	年2回
	通路	37	ビニール床シート	週3回	年2回

	展示室	728	ビニール床シート	週4回	年2回
	電算機室－1	44	ビニール床シート	－	年2回
	電算機室－2	25	ビニール床シート	－	年2回
	荷解き室、通路	295	ビニール床シート	－	年2回
	廊下－3	20	ビニール床シート	週2回	年2回
	EVホール	16	ビニール床シート	週2回	年2回
	付室－1	6	ビニール床シート	週2回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期B2F	トイレ(男)	13	石	毎日	－
	トイレ(女)	15	石	毎日	－
	トイレ(多目的)	5	石	毎日	－
	廊下－1	18	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室－2	29	ビニール床シート	週3回	年2回
	展示室	1064	ビニール床シート	週4回	年2回
	前室	7	ビニール床シート	週3回	年2回
	廊下－2	72	ビニール床シート	週3回	年2回
	男女更衣室	33	ビニール床シート	－	年2回
地球館Ⅱ期B2F	前室	7	ビニール床シート	週2回	年2回
	EVホール	16	ビニール床シート	週2回	年2回
	付室－1	6	ビニール床シート	週2回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週2回	年2回
地球館Ⅱ期B1F	EVホール	4	石	週3回	年2回
	エスカレーターロビー	61	石	週3回	年2回
	トイレ(男)	13	石	毎日	－
	トイレ(女)	15	石	毎日	－
	トイレ(多目的)	5	石	毎日	－
	廊下	18	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室－2	29	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期MB1F	エスカレーターロビー	110	石	週3回	年2回
	EVホール	6	石	週3回	年2回
	地下連絡通路	115	石	週3回	年2回
	付室	42	ビニール床シート	週3回	年2回
	廊下	28	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	トイレ	3	ビニール床シート	毎日	－
	湯沸室	2	ビニール床シート	－	年2回
	控え室	11	ビニール床シート	－	年2回
	電話交換室	14	ビニール床シート	－	年2回
	廊下	49	ビニール床シート	週3回	年2回
	EVホール	16	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室	6	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期1F	エスカレーターロビー	88	石	週3回	年2回
	EVホール	6	石	週3回	年2回
	トイレ(男)	13	大理石	毎日2回	－

	トイレ(女)	16	大理石	毎日2回	−
	トイレ(多目的)	6	大理石	毎日2回	−
	廊下	22	石	週3回	年2回
	階段(レストラン側)	30	ビニール床シート	毎日	年2回
	玄関ホール	37	石	毎日	年2回
	展示室	1062	ビニール床シート	週4回	年2回
	休憩・談話室	131	石	毎日	年2回
	EVホール	16	石	週3回	年2回
	付室	6	石	週3回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期M2F	トイレ(男)	13	大理石	毎日	−
	トイレ(女)	13	大理石	毎日	−
	トイレ(多目的)	4	大理石	毎日	−
	職員食堂	33	木床	毎日	年2回
	廊下	64	ビニール床シート	毎日	年2回
	付室	34	石	毎日	年2回
	階段	30	ビニール床シート	毎日	年2回
	食堂前室	24	石	毎日	年2回
	食堂出入り口通路階段	60	石	毎日	年2回
	EVホール	18	ビニール床シート	週3回	年2回
	付室	4	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期2F	トイレ(男)	13	石	毎日	−
	トイレ(女)	16	石	毎日	−
	トイレ(多目的)	5	石	毎日	−
	廊下	32	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	応接室	19	絨毯	−	年2回
	廊下	37	ビニール床シート	毎日	年2回
	特別会議室	75	絨毯	−	年2回
	展示室	1093	ビニール床シート	週4回	年2回
	廊下	29	ビニール床シート	週4回	年2回
	EVホール	17	ビニール床シート	週4回	年2回
	付室	6	ビニール床シート	週4回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
地球館Ⅱ期3F	資料室	53	ビニール床シート	−	年2回
	実験実習室	103	ビニール床シート	週3回	年2回
	準備室	20	ビニール床シート	−	年2回
	トイレ(男)	15	石	毎日	−
	トイレ(女)	15	石	毎日	−
	トイレ(多目的)	5	石	毎日	−
	廊下	32	ビニール床シート	週3回	年2回
	階段	30	ビニール床シート	週3回	年2回
	準備室	21	ビニール床シート	−	年2回
	廊下	30	ビニール床シート	週4回	年2回
	前室	7	ビニール床シート	週4回	年2回
	調整室	14	カーペット	−	年2回
	講義室	105	カーペット	−	年2回

	展示室	807	ビニール床シート	週4回	年2回
	図書・情報室	73	カーペット	－	年2回
	廊下	22	ビニール床シート	週4回	年2回
	前室	7	ビニール床シート	週4回	年2回
	EVホール	18	ビニール床シート	週4回	年2回
	付室	6	ビニール床シート	週4回	年2回
	階段	33	ビニール床シート	週3回	年2回
	屋上公園	445	磁器タイル及び木	毎日	年2回
エレベーター（3台）		7	ビニール床シート	毎日	－
エスカレーター		4台		毎日	－

【 屋 外・床 面 】

清　掃　場　所	面積（㎡）	材　質　・　状　況	回　数（日常清掃）	回　数（定期清掃）
日本館正面（サンクンガーデン）	1500	石	毎日	－
日本館正面他	365	石	週3回	－
通用口・SL附近	1100	コンクリート・アスファルト	週3回	－
地球館廻り	500	タイル他	週3回	－
みどり館地上部通路他	650	タイル他	週3回	－
みどり館地上部	410	芝生	週3回	－
みどり館地上部	150	木床	週3回	－
科学博物館外周(公道の歩道等)	900	コンクリート・アスファルト	週3回	－

別紙１３

売札業務（標準）

　業務場所：日本館地下１階入館券売場

１．［８：３０～９：００］
〇券売機の作動準備（入館券、釣銭等のセット）
〇団体窓口準備
〇清掃（券売機前面、カウンター、室内等）
〇各種表示等確認
〇その他準備作業

２．［９：００～１６：３０］（金曜日以外の開館日）［９：００～１９：３０］（金曜日）
〇入館券販売
（通常は券売機で個人の入館券を販売するが、必要に応じて窓口でも手売りする。）
〇団体入場受付（団体入館券の発行）
〇券売機の監視（入館券・釣銭の補充）
〇異常時の対処（券つまり・釣銭つまり・購入ミスその他エラー等の対応）
〇入館料金・その他案内

３．［１６：３０～１７：３０］（金曜日以外の開館日）［１９：３０～２０：３０］（金曜日）
〇外部表示物等の回収
〇券売機の停止、現金回収
〇入場者数・売上の集計、整理確認
〇室内整理、翌日の準備作業等

４．開館時間等
〇入館者の状況により、開館時間を早める場合がある。
〇同様に、販売終了時間を延長する場合がある。

５．釣銭・両替、入金について
〇売札業務に必要な釣銭については、民間事業者において準備し、管理を行うものとする。
〇収入金については、領収の日を含めて３日以内（取引金融機関の休業日を除く）に博物館の指定する金融機関に預け入れるものとする。

別紙１４

総合案内等業務（標準）

　業務場所：主として日本館地下１階ホール「総合案内」及び地球館１階「地球館案内所」

１．［８：３０～９：００］
〇清掃（カウンター、室内等）
〇各種配布物の確認、補充、残数確認
〇表示物等確認
〇当日の館内スケジュール、新着情報、連絡事項の確認、「本日のもよおし」掲示の管理、総合案内
　脇プラズマディスプレイ表示チェック
〇その他準備作業

２．［９：００～１７：００］（金曜日以外の開館日）［９：００～２０：００］（金曜日）
〇活動内容・諸施設、館内展示についての案内・情報提供
〇見学についての案内・情報提供・相談への対応
〇各種問い合わせ、苦情への対応
〇団体下見の受付
〇館内放送（催事案内、迷子放送等）　※総合案内のみ
〇車椅子、ベビーカーの貸出対応　　　※総合案内のみ
〇迷子、傷病者（軽症者については救護室まで案内）の対応
〇箒等による救護室の簡易清掃、シーツのセット及び残数確認、救急用品の管理及び残数確認
〇拾得物、遺失物の対応及び管理
〇来客への対応
〇メモリアルチケット、ショップ利用券の発行、再入館希望者の対応
〇カウンター周辺の入館者誘導
〇段差解消昇降機(身障者用リフト)の操作　※地球館案内所のみ

３．［１７：００～１７：３０］（金曜日以外の開館日）［２０：００～２０：３０］（金曜日）
〇配布物、表示物等の整理、回収
〇拾得物の整理、記録簿作成
〇提出書類作成（総合案内件数報告書、質問内容集計、苦情内容集計、下見団体集計 等）
〇カウンター・室内整理、翌日の準備作業等

４．開館時間等
〇入館者の状況により、開館時間を早める場合がある。
〇同様に、終了時間を延長する場合がある。

５．その他
〇企画展開催時、来館者調査実施時等の際には、企画展示室での来館者誘導、質問紙配布等の業務を依頼する場合がある。

別紙１５

音声ガイド・ＩＣカードカウンター業務（標準）

　業務場所：日本館地下１階カウンター

１．［８：３０～９：００］
○音声ガイド自動券売機の作動準備（利用券、釣銭等のセット）
○カウンター、室内等に設置の各種機器等の稼動確認
○清掃（カウンター、室内等）
○その他準備作業

２．［９：００～１６：３０］（金曜日以外の開館日）［９：００～１９：３０］（金曜日）
○音声ガイド・ＩＣカードについて、観覧者・来館者等への取扱説明
○音声ガイドの有料貸出し（自動券売機の貸出し補助、自動券売機故障時及び混雑時の手売り対応
○ＩＣカードの無料貸出し
○貸出しを行った音声ガイド・ＩＣカードの回収
○回収したＩＣカードの見学履歴情報のサーバー本体への送信
○パスワードの発行
○音声ガイド・ＩＣカード等機器の維持管理（電池充電、電池交換、イヤーホンの消毒を含む）
○その他音声ガイド・ＩＣカードに関する付随業務

３．［１６：３０～１７：００］（金曜日以外の開館日）［１９：３０～２０：００］（金曜日）
○音声ガイド自動券売機の停止、現金の回収
○利用者数の確認
○貸出しを行った音声ガイド・ＩＣカードの回収
○回収したＩＣカードの見学履歴情報のサーバー本体への送信
○パスワードの発行
○音声ガイド・ＩＣカード等機器の維持管理（電池充電、電池交換、イヤーホンの消毒を含む）

４．［１７：００～１７：３０］（金曜日以外の開館日）［２０：００～２０：３０］（金曜日）
○音声ガイド自動券売機の停止、現金の回収
○利用者数の確認
○回収したＩＣカードの見学履歴情報のサーバー本体への送信
○音声ガイド・ＩＣカード等機器の維持管理（電池充電、電池交換、イヤーホンの消毒を含む）
○報告書類作成（音声ガイド破損報告、音声ガイド不良報告）
○室内整理、翌日の準備作業等

５．開館時間等
○入館者の状況により、開館時間を早める場合がある。
○同様に、終了時間を延長する場合がある。

別紙１６

入館者誘導業務（標準）

　業務場所：入館口、入館券売場付近

１．［８：３０～９：００］
○誘導用パーテーション、看板等設置
○総合案内所で団体の予約状況を確認
○その他準備作業

２．［９：００～１７：００］（土日祝日等）［９：００～２０：００］（金曜日）
○玄関、入館券売場付近の入館者誘導
○混雑時の入館者列誘導
○団体入館者の整理誘導、引率者への説明
○入館料、入館方法等、各種問い合わせへの対応

３．［１７：００～１７：３０］（土日祝日等）［２０：００～２０：３０］（金曜日）
○誘導用パーテーション、看板等回収
○翌日の準備作業等

４．開館時間等
○入館者の状況により、開館時間を早める場合がある。
○同様に、終了時間を延長する場合がある。

別紙１７

シアター３６０案内業務（標準）

　業務場所：日本館地下１階シアター３６０

１．［８：３０～９：２０］
　〇上映システムの立ち上げ
　〇シアター内諸設備（ブリッジ、スクリーン、通路、誘導サイン等）の点検
　〇避難経路等の確認
　〇その他準備作業

２．［９：２０～１６：４０］（金曜日以外の開館日）［９：２０～１９：４０］（金曜日）
　〇シアター入口において観覧者の案内・誘導（常駐）
　〇シアター・ドーム入口で禁止事項・注意事項等のアナウンス、入場者数（定員：６０名）のカウント（常駐）
　〇シアター・ドーム内での上映操作、上映開始前の禁止・注意事項のアナウンス（常駐）
　〇その他運営に関する業務

３．［１６：４０～１７：００］（金曜日以外の開館日）［１９：４０～２０：００］（金曜日）
　〇上映システムの立ち下げ
　〇最終上映終了後、ブリッジ内のガラス面、通路等の清掃（汚損状況により外部も実施）
　〇シアター内諸設備の点検、落とし物の確認等
　〇室内整理、翌日の準備作業等

４．開館時間等
　〇観覧者の状況により、上映時間を延長する場合がある。

５．緊急時対応
　〇システムトラブルが発生した場合の総合案内、関係課等への連絡、入場者の避難誘導
　〇傷病人が発生した場合の救護室への案内、関係課等への連絡
　〇落とし物の回収、総合案内所への届け出

６．その他
　〇夏休み、GW 期間など観覧者が多くなる時期、期間には、整理券の発行業務が付加されることがある。
　〇業務終了後、業務日報を提出する。

別紙１８

天体観望売札等業務

国立科学博物館上野本館における夜の天体観望入館者への案内業務、売札業務及び、それらに付随する業務を行う。

業務場所：日本館地下１階夜間入館口

１．夏季［１９：００～２２：００］　冬季［１８：００～２１：００］
　ア、受付はおよそ30分前から準備
　　　夏季（4月～8月）19時半～観望の実施時間は約2時間
　　　冬季（9月～3月）18時半～観望の実施時間は約2時間
　イ、案内業務
　ウ、夜間入館券の発売
　エ、その他売札に付随する業務

２．緊急時対応
　○システムトラブルが発生した場合の総合案内、関係課等への連絡、入場者の避難誘導
　○傷病人が発生した場合の救護室への案内、関係課等への連絡
　○落とし物の回収、総合案内所への届け出

３．その他
　○天候により、開始時間が遅れる場合や、途中で中止となることがある。
　○観覧者の状況により、時間を延長する場合がある。
　○夏休み、GW 期間など観覧者が多くなる時期、期間には、整理券の発行業務が付加されることがある。
　○業務終了後、業務日報を提出する。

別紙１９

　たんけん広場監視業務

　たんけん広場に於いて、展示の監視、観覧者が望ましくない行動をとった場合の注意喚起、その他観覧者からの簡単な質問への対応を行う。

　業務場所：地球館２階・３階たんけん広場

１．［１６：１５～１６：３０］
○科学博物館担当者に、当日の展示状況を確認

２．［１６：３０～２０：００］
○展示の監視
○観覧者が望ましくない行動をとった場合の注意喚起
○展示物の故障、その他緊急時の科学博物館担当者への連絡
○観覧者からの質問等への対応

３．［２０：００～２０：１５］
○閉館後，科学博物館担当者に監視状況を報告

４．開館時間等
○入館者の状況により，終了時間を延長する場合がある。

別紙２０

業務予定日数

②コ　電話交換業務

年間 244 日

②ス　建物設備運転・監視業務

年間 361 日。そのうち夜間開館を行う日が 51 日。

③　　清掃業務

ア（ア）A　日常清掃

年間 318 日。そのうち夜間開館を行う日が 51 日。

④　　警備業務

区分(開館時間等)	年間日数
夜間開館日以外の開館日	267 日
夜間開館日	51 日
休館日（12 月 29 日～1 月 1 日を除く）	43 日

⑤　　総合案内・展示施設案内等業務

区分(開館時間)		年間日数
夜間開館日以外の開館日 (9:00～17:00)		318 日
	うち土日祝日、混雑日	143 日
夜間開館日 (9:00～20:00)		51 日
	うち混雑日	8 日

なお、毎月第一、第三金曜日に計画している夜間天体観望については 12 回の実施を見込んでいる。

※　以上の日数は予定であって、実際の業務日及び実施時間等は別途科学博物館から指示する。

別紙２１　来館者向けアンケート票

ご来館のお客様へ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　国立科学博物館

博物館の観覧環境に関するアンケートご協力のお願い

国立科学博物館にご来館いただきまして，ありがとうございます。

当館では，ご来館のお客様に快適かつ心地よいサービスを提供するよう努めております。その一環として，このたび，博物館施設の環境及びスタッフの対応など，観覧環境に関するアンケートを実施いたします。このアンケート結果を参考としまして，さらなる観覧環境の向上に努めて参りますので，ご理解，ご協力のほど，よろしくお願いいたします。

質問１．お客様についてお伺いします。

性別：　男性　・　女性　（該当するものに○をしてください。）

年齢：　小学生・中学生・15 ～ 24 才・25 ～ 34 才・35 ～ 44 才
45 ～ 54 才・55 才～ 64 才・65 才以上

住所　＿＿＿＿＿＿＿＿　（お住まいの都道府県名をご記入ください。）

質問２．展示室の環境（空調等）は快適とお感じになりましたか。（該当するものに○をしてください。）

１．快適と感じた

２．普通

３．不快と感じた

質問３．上の質問に関連して，特に快適と感じた点，特に不快と感じた点があればお教えください。

質問４．館内の諸施設の清潔さは満足できるものでしたか。（該当するものに○をしてください）

１．たいへん満足

２．満足

３．普通

４．不満

５．たいへん不満

【裏面に続きます】

質問５．上の質問４．のご回答で，清潔と感じられた場所，不快と感じられた場所を具体的にお教えください。

質問６．博物館の案内所や音声ガイドカウンター，シアター３６○のスタッフの対応は満足できるものでしたか。(該当するものに○をしてください)

１．たいへん満足
２．満足
３．普通
４．不満
５．たいへん不満

質問７．上の質問６のご回答に関し、具体的に良かった点(良かったスタッフ)，悪かった点(悪かったスタッフ)についてお教えください。

質問８．上の質問３から 7 以外に，博物館の観覧環境について具体的に良かった点，悪かった点について，ご自由にお書き下さい。

質問９．その他，国立科学博物館全般に関して，ご意見，お気づきの点などありましたら，ご自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。